

3 Aterm を使えるようにする (基本設定をする)

パソコンや電話機を使って、基本的な設定をします。

Aterm は、電話機だけをアナログポートすべてに接続して
契約者回線番号で同時に呼び出す場合には設定の必要はありません。

設定のしかたには、パソコンを接続している人は
パソコン(Windows®98/Windows®95 ㊦3-2 ページ、
Macintosh ㊦3-24 ページ)を使って、
電話機だけを接続している人は電話機(㊦3-44 ページ)
を使って設定してください。

3-1. パソコンから設定する

3-1-1. Windows®98/Windows®95ユーザの場合

● らくらくウィザードを使う

「らくらくウィザード」を使って簡単に「基本的な設定」と「インターネットへアクセスするための設定」をおこなうことができます。マニュアルに記載されている順番に従ってお読みください。パソコンの画面はお客様の環境によって異なることがあります。

「らくらくウィザード」をインストールする

ステップ1

Windows98/Windows95がインストールされているパソコンの電源を入れます



AtermをUSBポートに接続しているパソコンの電源を入れた時 [新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が出た場合は、USBケーブルを抜いてから **キャンセル** ボタンをクリックしてください。

ステップ2

添付の「AtermIT60Lユーティリティ集」CD-ROMをCDドライブにセットします

案内画面が自動的に表示されます。

CD-ROMを入れてもメニューが表示されないときは、「ファイル名を指定してインストールする」の操作をおこなってください。▶3-12ページ

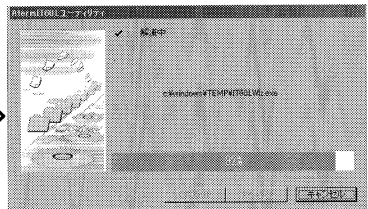
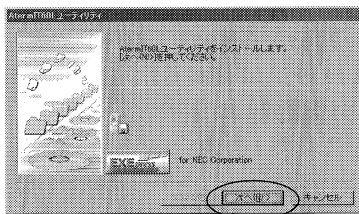
ステップ3

「らくらくユーティリティ (Windows98/Windows95用のインストール)」ボタンをクリックします

しばらくするとユーティリティインストール画面が表示されます。

ステップ4

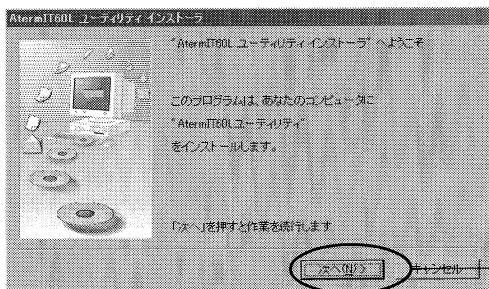
次へ ボタンをクリックします



[次へ] ボタン

Windows®98 は Microsoft® Windows®98 operating system の略です。
Windows®95 は Microsoft® Windows®95 operating system の略です。

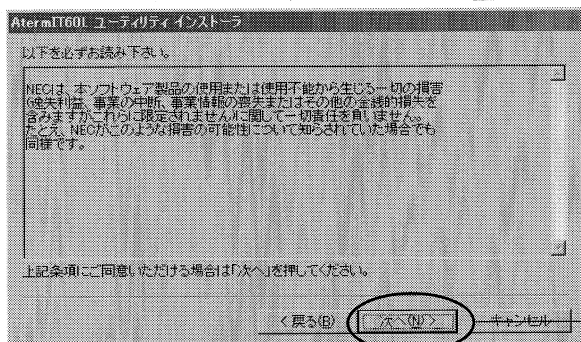
ステップ5

次へ ボタンをクリックします

[次へ] ボタン

ステップ6

[AtermIT60Lユーティリティインストーラ]画面が表示されるので、内容をよくお読みになったあと、同意される場合は、**次へ** ボタンをクリックします

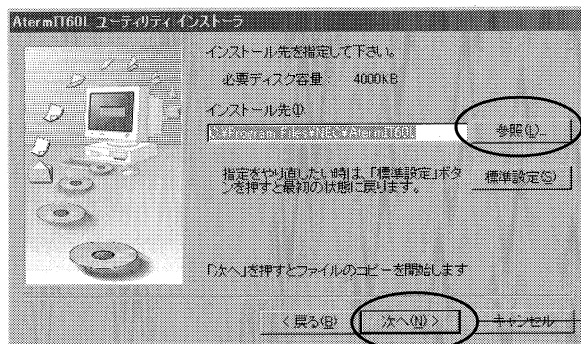


[次へ] ボタン

ステップ7

[AtermIT60Lユーティリティインストーラ]画面（インストール先を指定する画面）でインストール先とフォルダ名を決めます

●通常は、このまま **次へ** ボタンをクリックします。



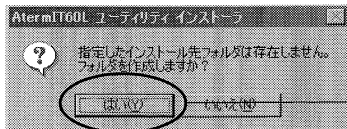
[参照] ボタン

[次へ] ボタン

インストール先およびフォルダ名を変更するときは、**参照** ボタンをクリックし、表示された画面でインストール先を指定します。

— この画面が表示されたとき —

はい ボタンをクリックします。



[はい] ボタン

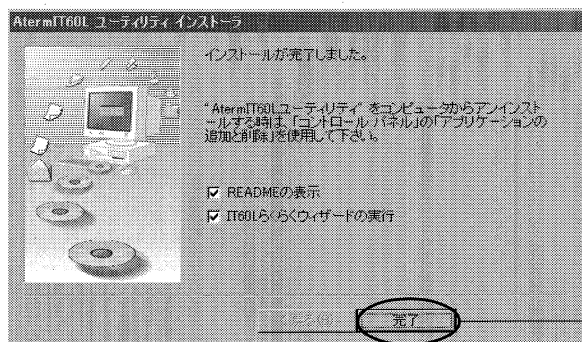
インストールが始まります。

ステップ 8

[インストール完了] 画面が表示されます

この後はいつ CD-ROM を抜いても問題ありません。

「IT60L らくらくウィザードの実行」のチェックボックスが であることを確認してから **完了** ボタンをクリックします。



[完了] ボタン

「README の表示」のチェックボックスが である（チェックされている）と、「IT60L らくらくウィザード」を実行する前にユーティリティに関する説明文が表示されます。

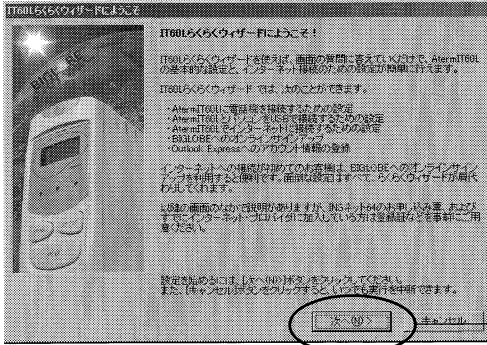
ステップ 9

「README」をよくお読みになった後は、クローズボックスをクリックします

らくらくウィザードで設定する

ステップ10

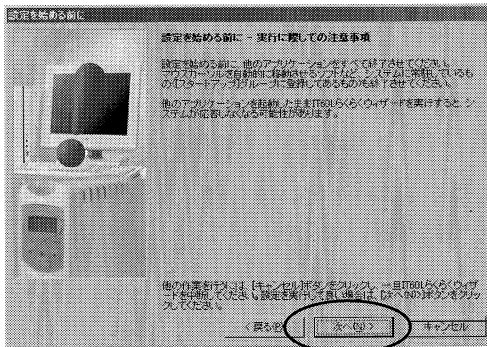
[IT60L らくらくウィザードによるこそ]画面の内容をよくお読みになってから、**次へ** ボタンをクリックします



[次へ] ボタン

ステップ11

[設定を始める前に] 画面の内容をよくお読みになってから、**次へ** ボタンをクリックします



[次へ] ボタン

注意!

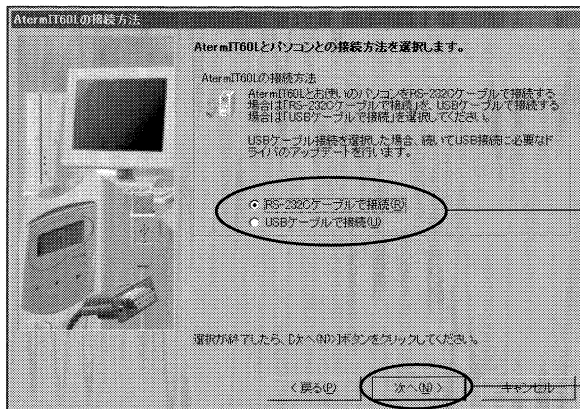
パソコンによっては、動作しなごったり途中で止まる場合があります。その場合は別冊の『お困りのときには』を参照してください。

参考

[らくらくウィザード]の設定後に再度[らくらくウィザード]を起動したい場合は、次の操作をおこなってください。

- ① **スタート** →「プログラム」→「AtermIT60Lユーティリティ」 → 「IT60L らくらくウィザード」を選択します。
[IT60L らくらくウィザードによるこそ]画面が表示されます。
- ② 上記、ステップ 10 からの操作をします。

[AtermIT60Lの接続方法]画面で接続方法を選択します



接続方法を選択

[次へ] ボタン

●データポートに接続する場合

[RS-232Cケーブルで接続]側を●にして、[次へ] ボタンをクリックします。

☞ ステップ 14 へ進みます。

●USBポートに接続する場合

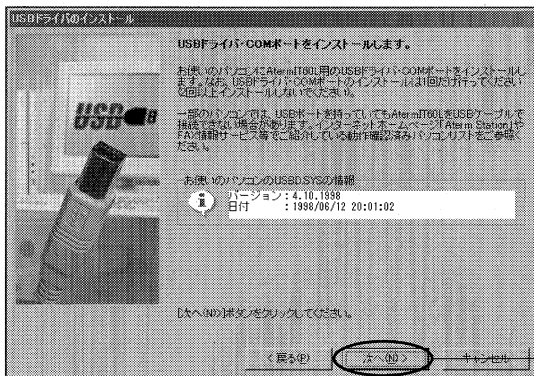
[USBケーブルで接続]側を●にして、[次へ] ボタンをクリックします。

☞ USBドライバがすでにインストールされているパソコンの場合は、ステップ 13の [USBドライバのアップデート]画面が表示されます。

① USBドライバがインストールされていないパソコンの場合は、次の[USBドライバのインストール]画面が表示されます。

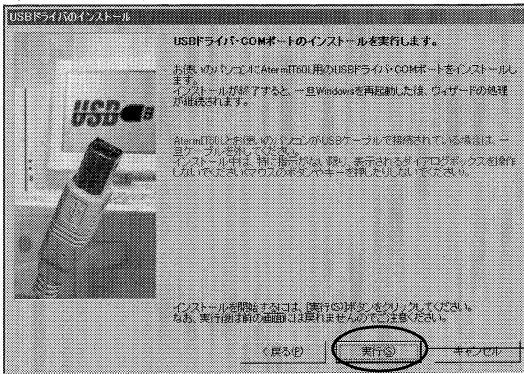
注意!

パソコンによってはWindows95でご使用になれない場合があります。あらかじめ、別冊『お困りのときには』の「USBについてのQ&A」(☞1-18 ページ)を参照してください。



[次へ] ボタン

- ② USB ドライバをインストールする場合は、**次へ** ボタンをクリックし、次の画面の**実行** ボタンをクリックします。



— [実行] ボタン

USB ドライバ・COM ポートのインストールを始めます。インストールが終了したら**再起動** ボタンをクリックしてからステップ 14 に進みます。

ステップ 13

[USB ドライバのアップデート]画面で USB ドライバのバージョンを確認します

- 「現在のバージョン」表示が「最新のバージョン」表示と同じかそれ以上のときは、[現在のドライバをアップデートしない]側が●になっていることを確認してから**次へ** ボタンをクリックします。
- 「現在のバージョン」表示が「最新のバージョン」表示よりも古いときは [現在のドライバをアップデートする]側を●にして**次へ** ボタンをクリックします。



— 再インストールの有無を選択

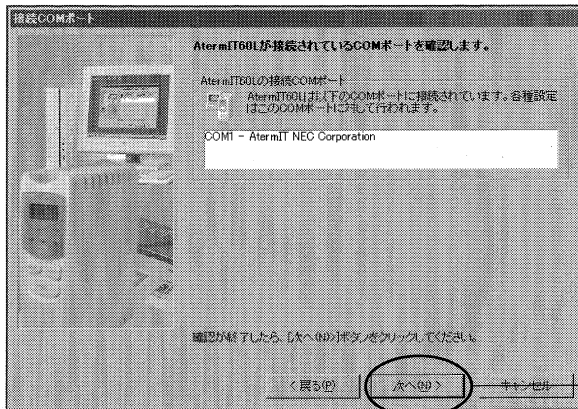
— [次へ] ボタン

[USB ドライバのアンインストール]画面が表示されるので、**USB ケーブルをいったんはずしてから** **実行** ボタンをクリックします。

アンインストール完了の画面が表示されたら、**OK** ボタンをクリックしステップ 14 へ進みます。

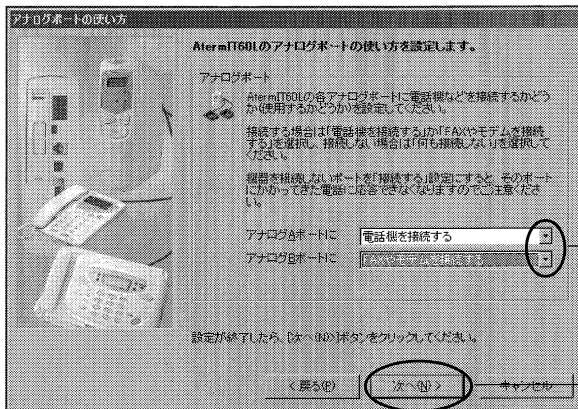
[接続 COM ポート]画面が表示されます

接続されているCOMポートを確認してから **[次へ]** ボタンをクリックします。



— [次へ] ボタン

[アナログポートの使い方]画面でアナログポートに接続している機器を設定します



▼で表示させて
接続機器を選択

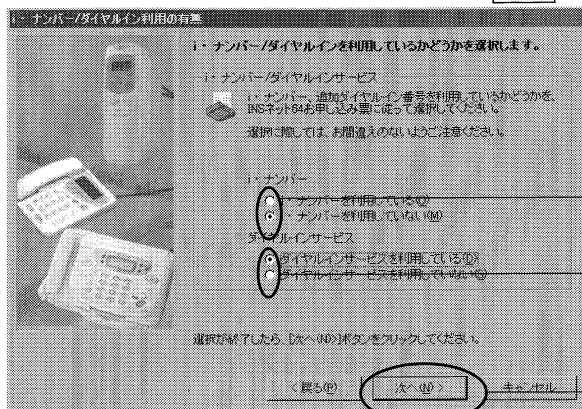
— [次へ] ボタン

- 電話機を接続しているアナログポートは、[電話機を接続する]を選びます。
- ファクス、ファクス付き電話機、アナログモデムを接続しているアナログポートは、[FAX やモデムを接続する]を選びます。
- 何も接続していないアナログポートには、[何も接続しない (使用しない)]を選びます。

設定が終了したら **[次へ]** ボタンをクリックします。

ステップ16

[i・ナンバー／ダイヤルイン利用の有無]画面でINSネット64のi・ナンバー／ダイヤルインサービスを利用しているかどうかの契約内容を、「INSネット64お申込票」をご覧になり確認してから選択し、「次へ」ボタンをクリックします



i・ナンバー契約の有無

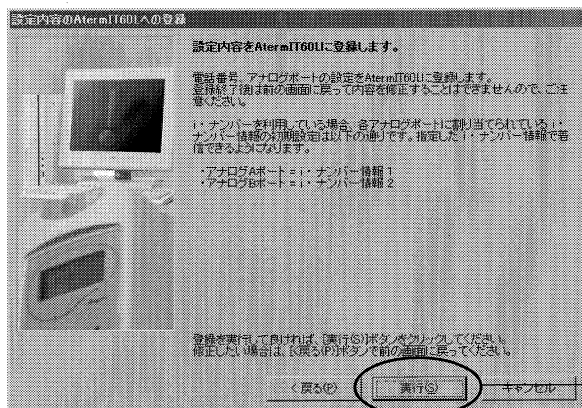
ダイヤルインサービスの契約の有無を選択

[次へ] ボタン

- [i・ナンバーを利用している] を選択した場合は、ステップ17へ進みます。
- [i・ナンバーを利用していない] を選択した場合は、ダイヤルインサービスを利用しているか、利用していないかについて選択し、「次へ」ボタンをクリックします。ステップ18へ進みます。

ステップ17

注意事項をお読みのうえ、「実行」ボタンをクリックします



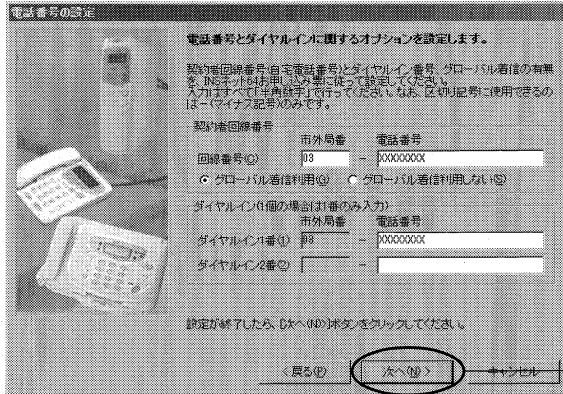
[次へ] ボタン

ステップ20へ進みます。

ステップ18

【電話番号の設定】画面が表示されます

画面は「ダイヤルインサービスを利用している」場合の例です。



「次へ」ボタン

- INS ネット 64 お申込票のグローバル着信を「利用する」にして契約した場合は、[グローバル着信利用]側を●にします。
- INS ネット 64 お申込票のグローバル着信が「利用しない」になっている場合は、[グローバル着信利用しない]側を●にします。

契約者回線番号とダイヤルイン番号の入力は半角数字を使います。

ダイヤルイン番号が1つの場合は、[ダイヤルイン 1 番(1)]の欄に入力します。

入力が終わったら **次へ** ボタンをクリックします

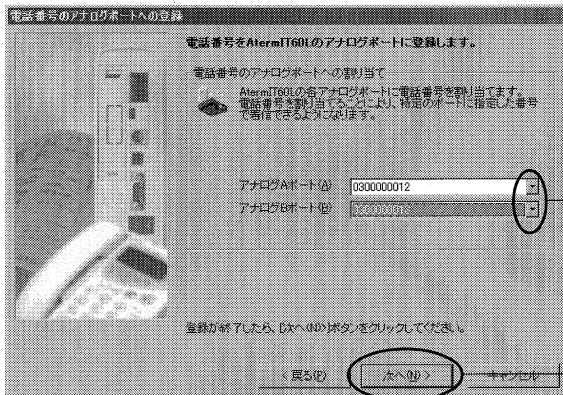
ステップ19

【電話番号のアナログポートへの登録】画面が表示されます

この画面では、各アナログポートに電話番号の割り当てをおこないます。

それぞれのアナログポートに割り当てる電話番号をポップアップメニューの中から選びます。

電話番号の割り当てが終わったら **次へ** ボタンをクリックします

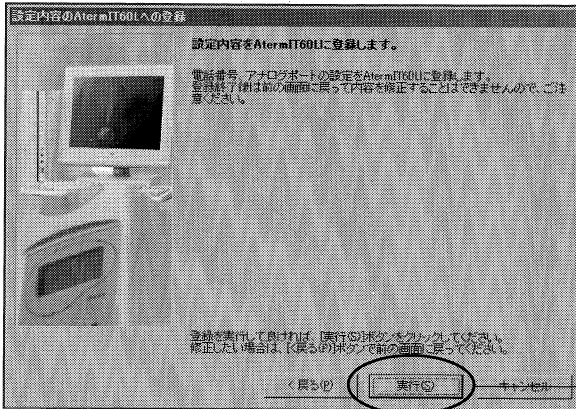


各アナログポートに割り当てる電話番号を設定

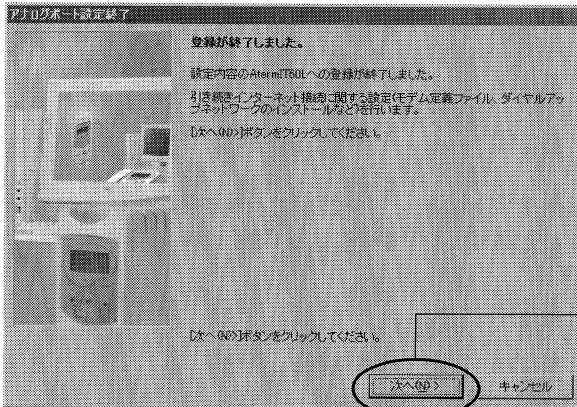
「次へ」ボタン

〔設定内容の AtermIT60L への登録〕画面で設定してきたアナログポートの内容を Aterm に登録します

実行 ボタンをクリックし、アナログポートの設定内容を Aterm に登録します



登録が終了すると[アナログポート設定終了]画面が表示されます。

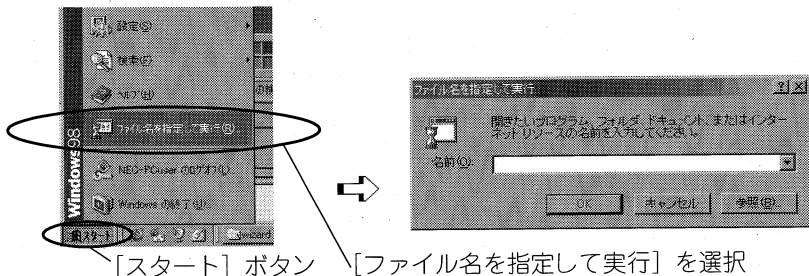


引き続き **次へ** ボタンをクリックします。インターネット接続に関する設定をおこないます。☞ **3-13 ページ**

(インターネット接続に関する設定をおこなわない場合も **次へ** ボタンをクリックします。)

パソコンに CD-ROM を入れてもメニューが表示されなかったとき
ファイル名を指定してインストールする

- ① タスクバーの [スタート] → [ファイル名を指定して実行] の順に選択します



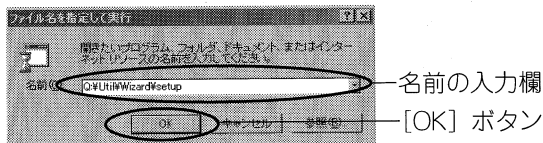
[スタート] ボタン [ファイル名を指定して実行] を選択

「ファイル名を指定して実行」ダイアログが表示されます。

- ② 名前の入力欄に、半角文字を次のように入力し、**OK** ボタンをクリックします

Q:¥Util¥Wizard¥setup

CD-ROM のドライブ名を指定します。



名前の入力欄

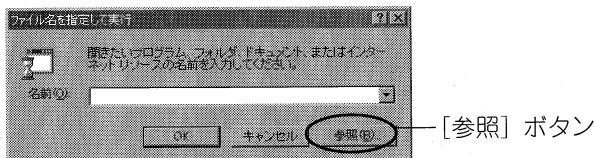
[OK] ボタン

参考

CD-ROM のドライブ名は、パソコンによって異なることがあります。わからないときは、次の操作により CD-ROM ドライブを探すこともできます。

- ① **参照** ボタンをクリックします

[ファイルの参照] ダイアログが表示されます。



[参照] ボタン

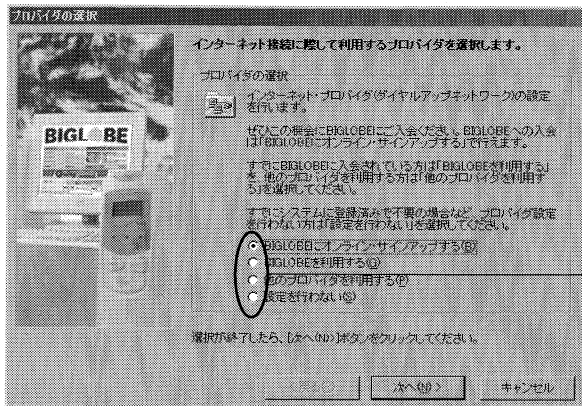
- ② **ファイルの場所** ボタンをプルダウン表示させ、表示されたリストボックスから CD-ROM ドライブを選択します。

ドライブ名を確認し、**キャンセル** ボタンをクリックします。

● インターネット接続に関する設定

[アナログポート設定終了]画面の **次へ** ボタンをクリックすると[プロバイダの選択]画面が表示されます。

【プロバイダの選択画面】



プロバイダを選択

ステップ1

[プロバイダの選択]画面では、設定するプロバイダの種類を選びます。インターネット接続に関する設定をおこなわない場合や既に使うパソコンでダイヤルアップの設定をおこなっている場合は、[設定を行わない]を選択します。

操作が終了したら、ステップ2に進みます。☞3-17ページ

- ・ [BIGLOBEにオンライン・サインアップする] ☞3-14ページ
- ・ [BIGLOBEを利用する] ☞3-14ページ
- ・ [他のプロバイダを利用する] ☞3-15ページ
- ・ [設定を行わない] ☞3-17ページ

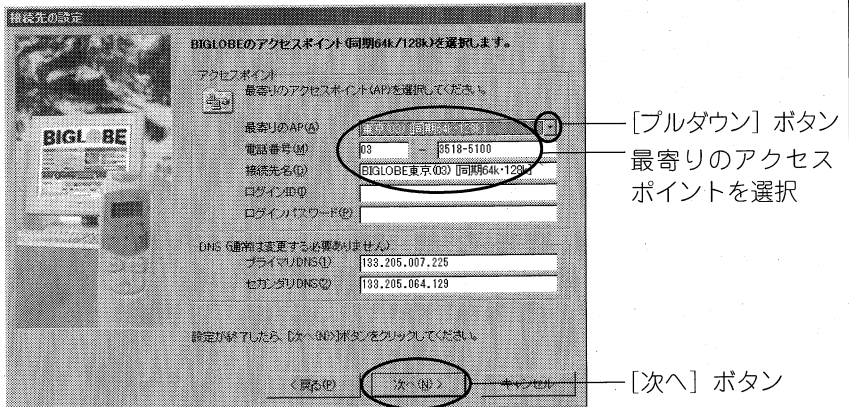


参考 BIGLOBE とは

インターネットとパソコン通信の垣根をなくした“フルコース”プロバイダ「ビッグロブ」。新しいスタイルの情報メディアとして、いま、ネットワークたちの熱い視線を集めています。

【プロバイダの選択画面】

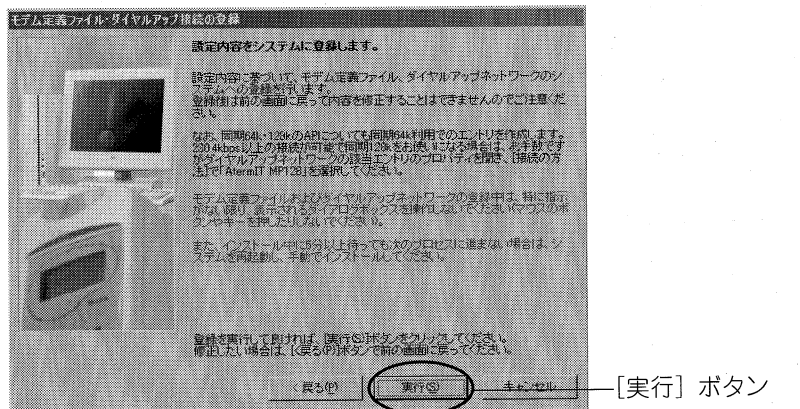
- プロバイダに未加入でBIGLOBEに加入する場合
 [BIGLOBEにオンライン・サインアップする]を選択して [次へ] ボタンをクリックすると、自動的にBIGLOBEとの通信による契約手続きをすることができます。画面の指示に従って操作していきます。
- プロバイダに加入済で『BIGLOBE』を利用する場合
 [BIGLOBEを利用する]を選択し [次へ] ボタンをクリックすると[接続先の設定]画面が表示されます。アクセスポイントには、[電話番号の設定] 画面で設定した電話番号から最寄りの場所が表示されます。
 変更したい場合は、▼ (プルダウンボタン) をクリックして選択してください。お住まいの都市名または、最寄りの都市名を選びます。



[次へ] ボタンをクリックします

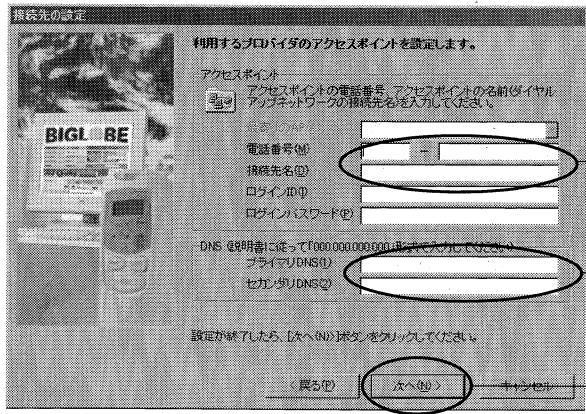
[モデム定義ファイル・ダイヤルアップ接続の登録]画面が表示されます。

[実行] ボタンをクリックします。



● 他のプロバイダに加入済の場合

[他のプロバイダを利用する]を選択すると[接続先の設定]画面が表示されます。契約しているプロバイダの情報を入力します。



プロバイダの情報を入力

プロバイダのユーザ情報資料に従って入力

[次へ] ボタン

[電話番号] 欄には、接続するアクセスポイントの電話番号を半角入力します。
[接続先名]の欄には、契約しているプロバイダの名称を入力します。

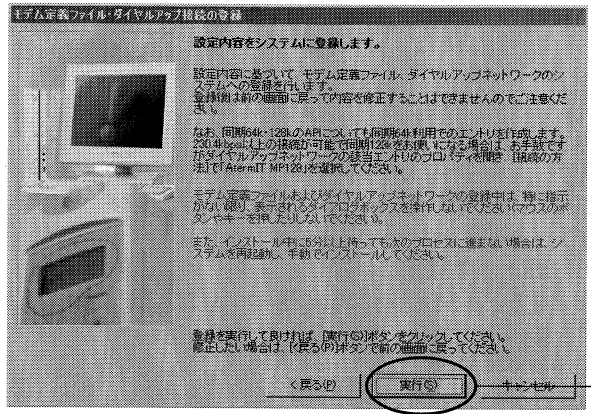


[接続先名]の欄には、正確にプロバイダの名称を入力する必要はありません。インターネットへ接続するとき使用するダイヤルアップネットワークの名前になります。

[DNS]欄の[プライマリDNS(1)]と[セカンダリDNS(2)]欄は契約しているプロバイダのユーザ情報資料に従って入力してください。

入力が終了したら [次へ] ボタンをクリックします

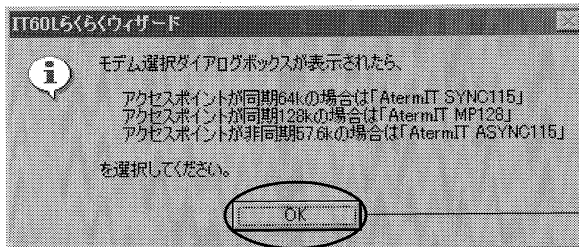
[モデム定義ファイル・ダイヤルアップ接続の登録]画面が表示されます。



[実行] ボタン

実行 ボタンをクリックします。

モデム選択説明の画面が表示されるので、よくお読みになったあと **[OK]** ボタンをクリックします。



[OK] ボタン

[モデムの選択]画面が表示されるので、モデムの種類を選びます。

「AtermIT MP128」：同期 128k の場合	} アクセスポイントの接続条件 については、プロバイダにお 問い合わせください。
「AtermIT SYNC115」：同期 64k の場合	
「AtermIT ASYNC115」：非同期 57.6k の場合	

の中から契約しているプロバイダのアクセスポイントの接続条件と同じ種類のモデム (項目) を選択し、**[OK]** ボタンをクリックします。



モデムの種類

[OK] ボタン



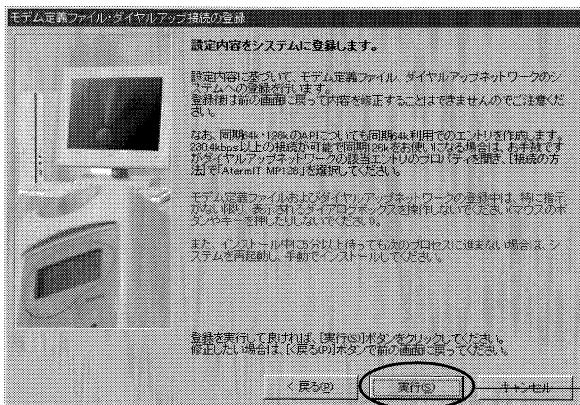
● AtermIT MP128を使用する場合

ユーティリティのデータポート、MP・BOD機能でスルーブット BOD の設定をおこなうと、はじめの発信・接続は 64k でおこない、データ量が多くなると 128k になります。

また、USB ポートご使用の場合は、フレックス BOD for USB をご利用になると、64k と 128k 接続をパソコン上で切り替えることができるようになります。128k 通信は、通信料金が 64k 通信の 2 倍かかります。

● インターネット接続の設定をおこなわない場合

[設定を行わない]を選択して「次へ」ボタンをクリックすると[モデム定義ファイル・ダイヤルアップ接続の登録]画面が表示されます。

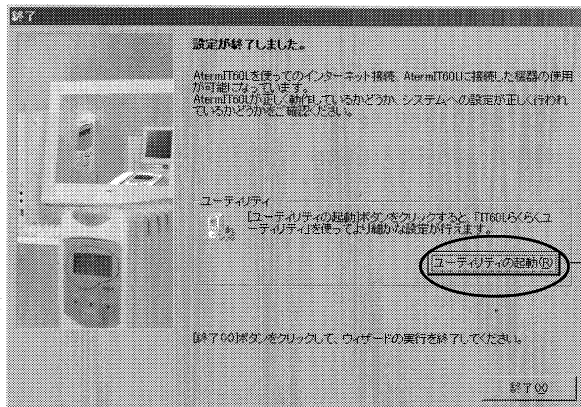


—[実行] ボタン

「実行」ボタンをクリックすると設定はおこなわれずに [終了] 画面が表示されます。

ステップ 2

操作終了後、次の画面が表示されたら、「ユーティリティの起動」ボタンをクリックして、日付・時刻を設定します



—[ユーティリティの起動] ボタン

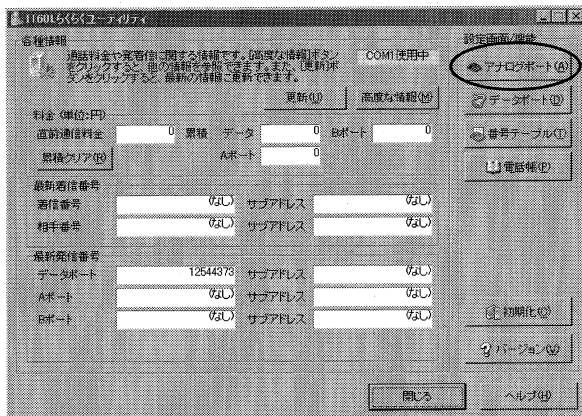
● 日付・時刻を設定する

「らくらくユーティリティ」を使って、パソコンの日付・時刻に、Atermの時計を合わせます。

らくらくウィザードの [終了] 画面で **ユーティリティの起動** ボタンをクリックすると、[IT60L らくらくユーティリティ] 画面が表示されます。

ステップ 1

アナログポート ボタンをクリックします



「アナログポートの設定」画面が表示されます。

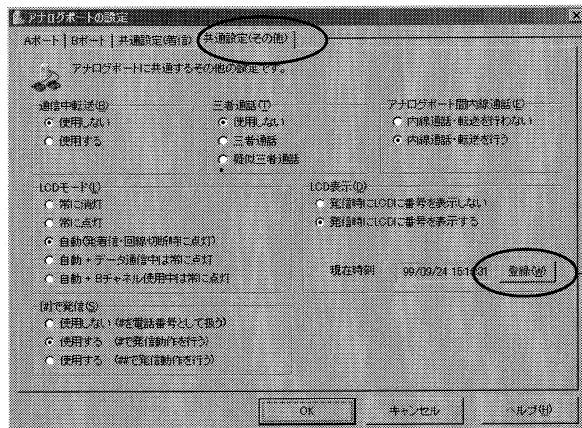
ステップ 2

[共通設定(その他)] タグをクリックします

[共通設定(その他)]画面が表示されます。

ステップ 3

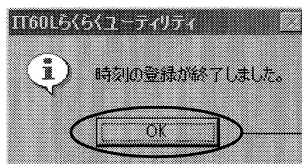
「LCD 表示」欄の **登録** ボタンをクリックします



ステップ4

[時刻の登録が終了しました]画面が表示されます

[OK] ボタンをクリックします



[OK] ボタン

パソコンの日付・時刻に Aterm の時計を合わせました。

[共通設定 (その他)] 画面が表示されます。

ステップ5

[OK] ボタンをクリックします

[IT60L らくらくユーティリティ]画面が表示されます

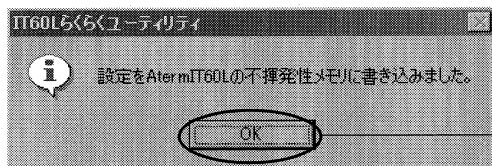
ステップ6

[閉じる] ボタンをクリックします

[設定を AtermIT60L の不揮発性メモリに書き込みました] が表示されます。

ステップ7

[OK] ボタンをクリックして終了します



[OK] ボタン

Aterm の基本設定は終了しました。

インターネット接続の設定をおこなった方は次頁にお進みください。

なお、Aterm には他にも便利な機能がたくさんあります。

📖 『活用マニュアル』

あなたの通信環境に合わせた設定をおこなってください。

● インターネットへ接続する

ここでは、実際にプロバイダのアクセスポイントに電話をかけてインターネットに接続します。



Windows98をお使いの場合でブラウザソフトのアイコンがないとき

Windows98をお使いの場合でデスクトップにブラウザソフトのアイコンがないときは、先に [Internet Explorer] アイコンを作成します。ブラウザソフト作成後は、デスクトップにアイコンが表示されます。作成は次の手順でおこないます。

- ① デスクトップの [インターネットに接続] アイコンをダブルクリックします
- ② 「インターネット接続ウィザード」が起動します。表示された画面で、オプション選択をします。一番下の選択肢「既にインターネット接続の設定が…表示しない」の○をクリックして◎にします
- ③ **次へ** ボタンをクリックして終了します。



デスクトップにあった [インターネットに接続] のアイコンが消えて、[Internet Explorer] と [Outlook Express] のアイコンが作成されます。

ステップ1

[マイコンピュータ] → [ダイヤルアップネットワーク] → いろいろウィザードで設定した接続するプロバイダの名称のついているアイコンをダブルクリックします

アイコンの名称の [接続] 画面が表示されます。

ステップ2

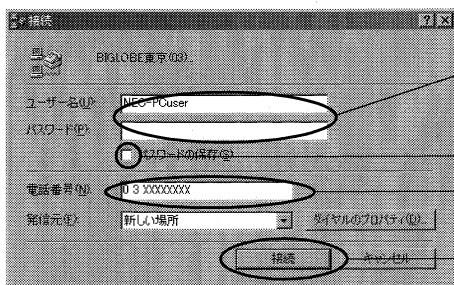
[ユーザー名] と [パスワード] を入力します

※ [ユーザー名] と [パスワード] は、プロバイダのユーザ情報等の資料に従って入力します。プロバイダによっては、[ユーザー名]は[ユーザーID]と書かれていることがあります。

入力には、半角英文字を使います。大文字、小文字の区別もプロバイダからのユーザ情報等の資料にあわせてください。



[パスワードの保存]のチェックマークを☑にすると、入力したパスワードが保存され、次回から入力する必要がなくなります。



ダイヤルアップ接続用の[ユーザー名]と[パスワード]の入力

パスワードの保存
プロバイダのアクセス番号が表示されます

[接続] ボタン

ステップ3

接続 ボタンをクリックします

パソコンからプロバイダに電話をかけ、接続されると[ユーザー名]と[パスワード]の確認がおこなわれます。確認が正常に終了するとプロバイダのホストコンピュータに接続され、パソコンのタスクバーに[ダイヤルアップネットワークモニタ]アイコンができます。



[ダイヤルアップネットワークモニタ]アイコン

ステップ4

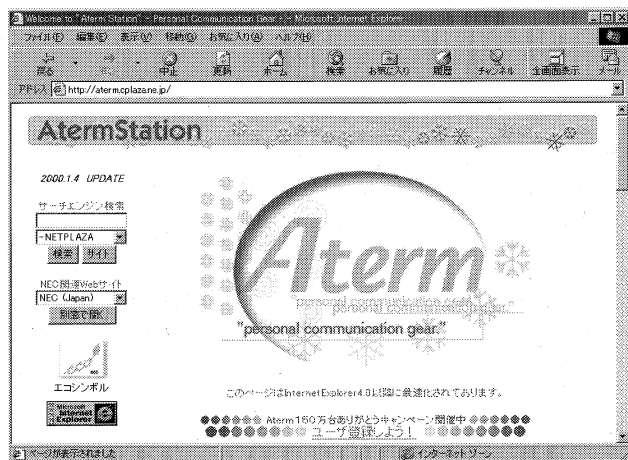
ブラウザソフトを起動します

[Internet Explorer]や[Netscape Navigator]などのアイコンをダブルクリックします。

ステップ5

見たいホームページのアドレス(URL) (たとえば <http://aterm.cplaza.ne.jp>) を入力し、リターンキーを押します

ホームページを見ることができます。



(AtermStationのアドレスおよび画面は平成12年1月現在のものです。)



参考

Atermをお買い上げいただいたお客様を対象にユーザ登録をおこなっています。登録していただいたお客様には、Atermをご使用のお客様へのサービスの一環といたしまして、電子メールによる新製品情報、バージョンアップの案内を中心に、さまざまな情報提供やキャンペーン、イベントなどの特典・サービスを提供して参ります。

是非ユーザ登録をおこなってください。

登録はインターネットホームページ「AtermStation」にておこなっています。

事前にご用意いただくもの

1. Aterm 本体（機種名、製造番号）
2. 電子メールアドレス（最も一般的に使用しているアドレス）
3. Atermを使用するINS ネット 64の契約者回線番号

● インターネットの接続を切断する

ステップ1

見終わったらファイルメニューから[終了]を選んでブラウザソフトを終了します

ステップ2

タスクバーの[ダイヤルアップネットワークモニタ]アイコンをダブルクリックします

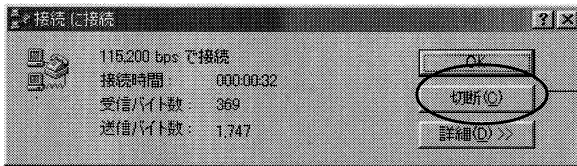
ステップ3

切断 ボタンをクリックします

注意!

切断 ボタンをクリックしないと、ブラウザソフトを終了しても電話はつながったままになっています。

インターネットの接続をやめるときは、必ず[ダイヤルアップネットワーク]画面の **切断** ボタンをクリックしてください。



[切断] ボタン

インターネットの接続が切断されます。

通信回線が正常に切断されると、Atermの液晶ディスプレイに「データセツダン」が約20秒間表示されます。

注意!

切断 ボタンをクリックしてもAtermの液晶ディスプレイにデータ通信中のピクトグラム(⇄B1B2)のどちらかが表示されているときは、通信回線がつながったままになっています。そのまま放置すると通信費用がかかり続けます。このようなときは、AtermとINSネット64を接続している回線ケーブルを一度抜いて通信回線を強制的に切断してください。

回線ケーブルを抜くとAtermのすべての通信が切断されるので、他の機器が通信(通話)中ではないことを確認してから回線ケーブルを抜いてください。

参考

AtermのUSBポートまたはデータポートでは自動発信をする場合、通信相手が話中のときには再発信の回数は最初の発信から3分間で2回以内に制限しています。

この制限をこえる再発信は受け付けません。

3-1-2. Macintosh ユーザの場合

iMac、Power Macintosh G3 をご利用の方は、USB ポートを使用するために Aterm やパソコンの設定が必要です。

以下の手順から始めてください。それ以外の方は「らくらくユーティリティをインストールする」[3-27](#) ページから始めてください。

● iMac、Power Macintosh G3 ユーザの場合


注意!

USB 関連のユーティリティ（フレックス BOD ユーティリティ、着信履歴 for USB ユーティリティ）はご利用できません。

iMac、Power Macintosh G3 の環境を確認する

iMac/Power Macintosh G3 の環境が以下の通りとなっていることを確認します。環境が異なる場合には Aterm が使用できませんので、以下の手順に従い、パソコン本体のアップデートを行ってください。

ステップ 1

「アップルメニュー」( マーク) → 「このコンピュータについて」を開きます。Mac OS 8.5 (8.5.1) または Mac OS 8.6 になっていることを確認します。また Mac OS 8.5 (8.5.1) の場合、iMac では Mac OS ROM J1-1.2.1、G3 では Mac OS ROM J1-1.1.2b となっていることを確認します。



iMac をお使いの場合で Mac OS 8.5J (または 8.5.1J) で MacOS ROM 1.2.1 でない場合は、アップルコンピュータのホームページのサポート情報から次の2つの情報を見つけ、そこに書かれている通りにアップデートを実行してください。

- **iMac Firmware Update 1.2**
(iMac Firmware 3.0 のインストール)
- **iMac Update 1.1**
(1999 年 12 月 1 日現在の Version)

続いて Aterm USB ドライバのインストールをおこないます。

Mac ロゴ、Mac、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
iMac、Power Macintosh G3 は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

Aterm USB ドライバをインストールする

パソコンの環境を確認したら、次にAtermのUSBドライバのインストールを行います。

ステップ1 Atermに添付されているCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入します

ステップ2 USBドライバフォルダに含まれている「USBATermIT」「SerialShimLib」の両ファイルをシステムフォルダ内の機能拡張フォルダにコピーします

コピーした後、CD-ROMを抜きます。

ステップ3 パソコンを再起動します

パソコンの再起動が完了し、起動が済みましたら、インストールは終了です。

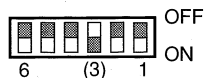
注意!

MacOS 8.6 がプレインストールされているモデルでは Serial ShimLib をコピーしようとすると、「これは使用中です。したがって、ライブラリ “SerialShimLib” は入れかえることができません。」の旨の表示がでてコピーできない場合があります。MacOS 8.6 プレインストールモデルにはこの “SerialShimLib” がすでにインストールされており、コピーを行う必要はありません。本エラーメッセージが出た場合には “SerialShimLib” のコピーは不要です。プレインストールされている “SerialShimLib” をそのままご使用ください。

Aterm をパソコンに認識させる

USB ドライバのインストールが完了したら、Aterm をパソコンに認識させるために、ディップスイッチ(図 1-18 ページ②)の設定をおこなってから USB で接続します。

ステップ 1 ディップスイッチ 3 を ON にします



ステップ 2 ディップスイッチを変更した場合には、Aterm の電源を一度切ってから再度電源を入れ直してください

ディップスイッチ設定は電源投入で認識されます。

ステップ 3 パソコン本体の USB ポートと Aterm の USB ポートを Aterm 本体に添付されている USB ケーブルを使用して接続します

注意!

Aterm を安定してお使い頂くために、キーボードの USB ポートではなく、パソコン本体の USB ポートでご利用されることをお勧めします。

パソコン、Aterm 双方の電源が入っていれば、「USB by Aterm」(AtermIT60L の USB ポートを接続した場合)と表示されます。

パソコンと Aterm が USB で接続が完了しました。

表示が行われなかった場合には、パソコンと Aterm がうまく接続されていないことを示しています。

再度 USB ケーブルを抜いて差しなおす、USB ドライバが確実に機能拡張フォルダにコピーされているなどをご確認ください。

注意!

- ・各ディップスイッチが OFF の場合、USB は Windows98/95 でのご利用となります。
- ・ディップスイッチの設定に誤りがあった場合でも「USB by Aterm」が表示されることがあります。誤った設定のままご利用になりますと、インターネット接続がうまくおこなえません。ディップスイッチ設定は十分確認の上、ご利用ください。
- ・ご利用のパソコンの環境によっては起動時、USB ケーブル挿入時に Aterm が認識されない場合があります。その場合には一度 USB ケーブルを抜いて、挿すことによって再び USB の認識処理が行われ、Aterm が認識されるようになります。

次に「基本的な設定」を「らくらくユーティリティ」で、「インターネットへアクセスするための設定」を Macintosh OS に添付の Open Transport PPP を使用しておこないます。

日付・時刻の設定は、電話機からおこなってください。▶▶▶3-44 ページ

●らくらくユーティリティをインストールする

ステップ1

Macintosh の電源を入れます

ステップ2

添付の「AtermIT60L ユーティリティ集」CD-ROM を CD ドライブにセットします

画面に CD-ROM のアイコンが表示されます。

ステップ3

CD-ROM のアイコンをクリックします

ステップ4

「IT60L ユーティリティ」フォルダをハードディスクにコピーします

ステップ5

「AtermIT60L ユーティリティ集」CD-ROM を取り出します

これでインストールは完了です。

●らくらくユーティリティの基本操作について

らくらくユーティリティ画面のアイコンやボタンをマウスで操作してAtermの設定をおこないます。各設定画面を開くと Aterm に設定されている値が表示されます。

入力のしかたとボタンについて

画面上の項目の左側に○や●がある場合は、●になっている項目が設定値です。

●をクリックすると○になり、○をクリックすると●になります。

になっているところは、 をマウスでクリックし、キーボードから設定値を入力します。

登録 ボタンをクリックすると設定値を Aterm に登録します。

注意!

アナログポート着信中は、**登録** ボタンをクリックしないでください。クリックすると呼出音が変わることがあります。

ヘルプボタンについて

画面内の項目の意味を知るときには、メニューバーの[ヘルプ]の中から[バルーン表示]を選び、項目の上にポインタを移動します。ポインタを重ねた項目の意味をバルーン表示で解説します。バルーン表示についてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

●らくらくユーティリティで設定する

らくらくユーティリティを使って、アナログポートの設定など基本的な設定をしていきます。

注意!

接続しているアナログ機器を使用しているときは **登録** ボタンをクリックしないでください。クリックするとエラーになります。

ステップ1

ハードディスクにコピーした「IT60Lユーティリティ」フォルダをダブルクリックします



「IT60Lユーティリティ」フォルダをダブルクリックする

ステップ2

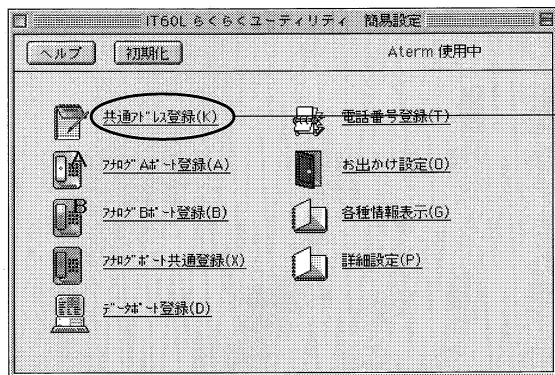
「IT60L らくらくユーティリティ」アイコンをダブルクリックします

「IT60L らくらくユーティリティ簡易設定」画面が表示されます。

「簡易設定」画面が表示されないときは3-33ページをご覧ください。

ステップ3

「共通アドレス登録」アイコンをクリックします



「共通アドレス登録」

「共通アドレス登録」画面が表示されます。

i・ナンバー契約の有無を選択し、**次へ** ボタンをクリックします

[i・ナンバー契約の有無を選択]

[次へ] ボタン

i・ナンバーを契約していない場合は、[使用しない] の○をクリックして●にします。
ステップ6に進みます。

i・ナンバーを契約している場合は、[使用する] の○をクリックして●にします。ステップ5に進みます。

INS ネット 64 で契約した i・ナンバーを登録します

電話番号を入力

着信ポートを選択

[登録] ボタン

i・ナンバー情報の電話番号欄にそれぞれの電話番号を入力し、着信するポートを選択します。「着信ポート」の□をクリックして☑にします。

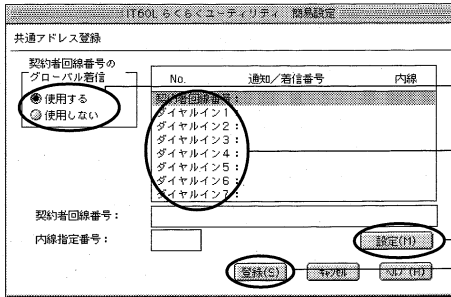
設定が終わったら **登録** ボタンをクリックします。

[らくらくユーティリティ簡易設定] 画面に戻ります。

ステップ7に進みます。

ステップ6

INS ネット 64 で契約した電話番号を登録します



グローバル着信
使用の有無

電話番号の登録

[設定] ボタン

[登録] ボタン

「契約者回線番号のグローバル着信を使用する」が「使用しない」と電話番号の登録をします。INS ネット 64 のお申込票と同じ内容を設定してください。

電話番号を登録するときは、登録する No. をクリックした後に電話番号を入力します。

電話番号の入力には、半角数字を使います。

[設定] ボタンをクリックします。

電話番号の登録が終わったら、[登録] ボタンをクリックします。

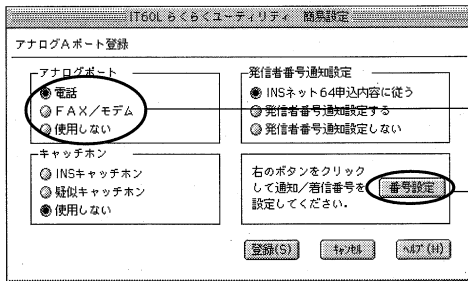
[いろいろユーティリティ簡易設定]画面に戻ります。

ステップ7

[アナログAポート登録]アイコンをクリックします

(ここではアナログAポートの登録をおこなう場合を例として説明します。アナログBポートを設定する場合は、それぞれ読み替えておこなってください。)

[アナログAポート登録]画面が表示されます。アナログAポートに接続した機器を選択します。



[接続機器] を選択

[番号設定] ボタン

- 電話機を接続しているアナログポートは、[電話] を選びます。
- ファクス、ファクス付き電話機、アナログモデムを接続しているアナログポートは、[FAX/ モデム] を選びます。
- 何も接続していないアナログポートには、[使用しない] を選びます。

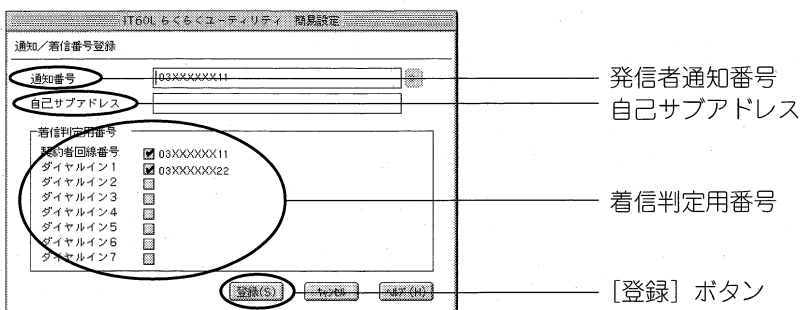
番号設定 ボタンをクリックします

[契約者回線番号またはダイヤルイン番号の場合]

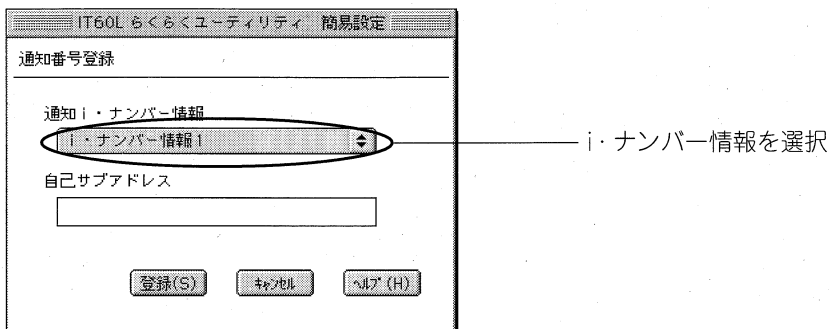
(発信者) 通知番号は、自分から電話をかけたときに、相手に通知される電話番号を指定します。

着信判定用番号は、共通アドレス登録で登録した電話番号から をクリックして にして選択します。

図の例では、03XXXXXXX11と03XXXXXXX22のいずれの電話番号への着信でも電話機の呼出音が鳴ります。



[i・ナンバーの場合]



相手に通知する電話番号をi・ナンバー情報1,2から選択します。

設定が終わったら、**登録** ボタンをクリックします。

[アナログAポート登録] 画面に戻ります。

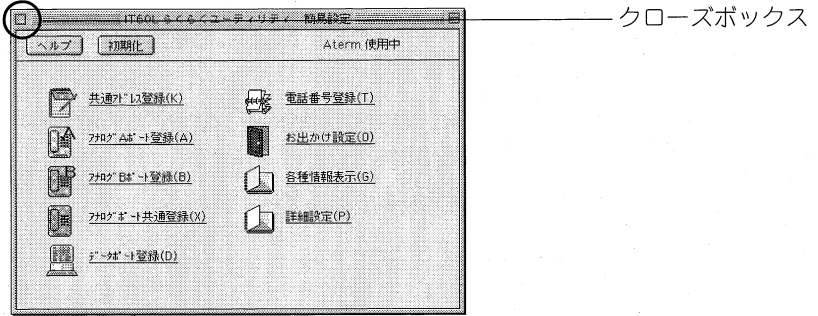
ステップ9

[アナログAポート登録] 画面の **登録** ボタンをクリックします。

[らくらくユーティリティ簡易設定]画面に戻ります。

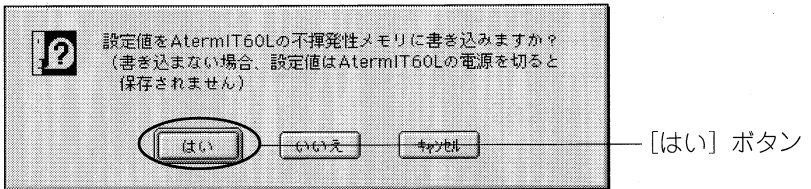
ステップ10

[らくらくユーティリティ簡易設定]画面のクローズボックスをクリックします



ステップ11

[設定値をAtermIT60Lの不揮発性メモリに書き込みますか?]が表示されるので、**はい** ボタンをクリックします



Atermの不揮発性メモリに設定内容が登録されます。

Atermの電源を切っても設定した内容が残ります。

これで、らくらくユーティリティを使った基本的な設定は終了です。

インターネット接続の設定をおこなう方は **3-34 ページ**にお進みください。

なお、Atermには他にも便利な機能がたくさんあります。

📖『活用マニュアル』


あなたの通信環境に合わせた設定をおこなってください。

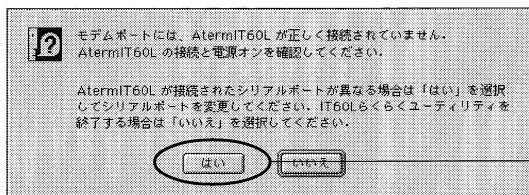
【簡易設定】メニュー画面が表示されないとき

「XXXXX には、AtermIT60L が正しく接続されていません・・・」が表示されたとき

ステップ1

Atermの電源が入っていることと、Macintoshとの接続ケーブルが正しく接続されていることを確認して「はい」ボタンをクリックします

- iMac または Power Macintosh G3 の場合
USB ドライバがインストールされているか確認してください。インストールしていない場合は  3-25 ページを見てインストールしてください。

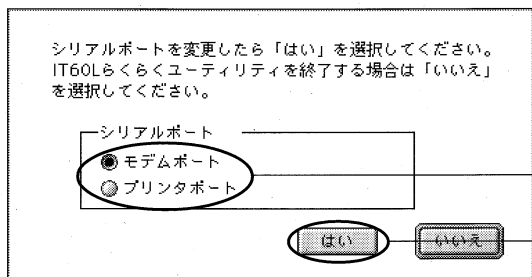


「はい」ボタン

画面は一例です。

ステップ2

Atermと接続しているMacintoshのポートを選び、「はい」ボタンをクリックします



ポートを選択

「はい」ボタン

● インターネット接続に関する設定

インターネットの接続に必要な、TCP/IP、モデム、リモートアクセス（またはPPP）の設定をします。

インターネットに接続するには、あらかじめプロバイダとの契約が必要です。(1-11 ページ) プロバイダからのユーザ情報等の資料をもとに設定していきます。

ここでは、Mac OS 7.6以上に添付されている **Open Transport PPP** を使って接続する方法を説明します。

iMac および Power Macintosh G3 にはインターネット接続を簡単に行うための接続アシスタントが標準でインストールされています。このアシスタントをご利用することでインターネットへ簡単に接続設定を行うことができます。詳しくは、iMac/Power Macintosh G3 のヘルプをご覧ください。

● システムソフトウェアが漢字 Talk 7.6 以上の場合

- TCP/IP ソフトウェアが添付されています。アップルメニューを開き、コントロールパネルの中に TCP/IP が入っていることを確認してください。入っていない場合は、Macintosh に添付の CD-ROM から TCP/IP ソフトウェアをカスタムインストールでインストールしてください。
- Mac OS 7.6 以上の場合 OT-PPP が標準添付されています。アップルメニューのコントロールパネルの中にリモートアクセス(または PPP)が入っていないときは、Macintosh に添付の CD-ROM からカスタムインストールしてください。
- CD-ROM の [CCL ファイル] に入っている CCL ファイルを、Macintosh [システム] フォルダの中の [機能拡張] フォルダにある [Modem scripts] フォルダに入れます。
同じ名前の古いファイルがある場合は、上書きをして入れ替えます。

● Performa シリーズをお使いの方に

- コントロールパネルの機能拡張マネージャで [A/ROSE] のチェックマークをはずさないとソフトウェアが動作しない場合があります。
チェックのはずしかたは、Macintosh の取扱説明書をご覧ください。
- モデム内蔵の機種をお使いの場合は、コントロールパネルの機能拡張マネージャで内蔵モデム関係のチェックをはずさないと、モデムポートが働かない場合があります。詳細は、アップルカスタマーアシスタンスセンターにお問い合わせいただくか、モデムポートの代わりにプリンタポートをご使用ください。

TCP/IP の設定をする

プロバイダに接続するための条件などを設定します。

ステップ1

メニューバーのアップルマーク () をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

ステップ2

[TCP/IP] アイコンをダブルクリックします

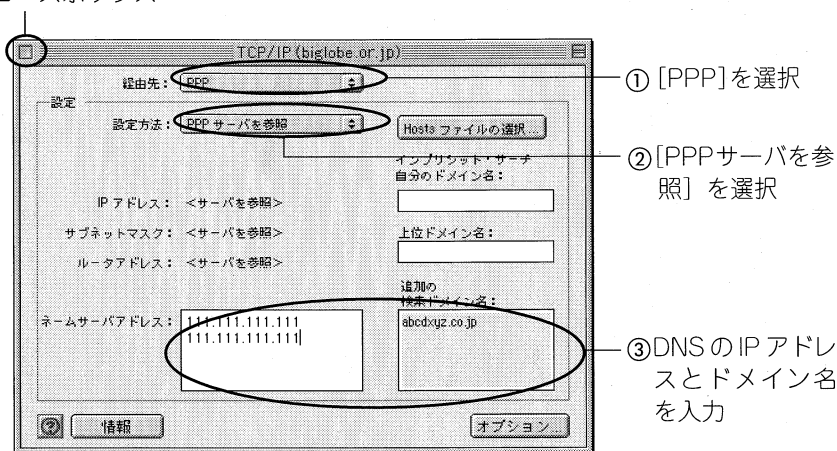
[TCP/IP] 画面が表示されます。

ステップ3

TCP/IP を設定します

- ① [経由先]のプルダウンメニューから[PPP]を選びます。
- ② [設定方法]のプルダウンメニューから[PPP サーバを参照]を選びます。
- ③ [ネームサーバアドレス]欄にプロバイダからのユーザ情報等の資料を参照してDNSのIPアドレスを入力します。
一行目にプライマリを入力します。
[追加の検索ドメイン名]欄にプロバイダからのユーザ情報等の資料を参照してドメイン名を入力します。
入力には半角英数字を使います。大文字、小文字の区別もプロバイダからのユーザ設定情報等の資料にあわせてください。

クローズボックス



(画面はバージョンによって変わることがあります。以下同じ)

ステップ4

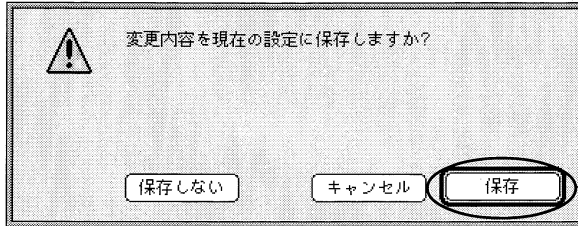
TCP/IPの設定が終了したら、[TCP/IP]画面のクローズボックスをクリックします

モデムの設定をしないときは、クローズボックスをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

ステップ5

保存 ボタンをクリックします

TCP/IP の設定が終了しました。



[保存] ボタン

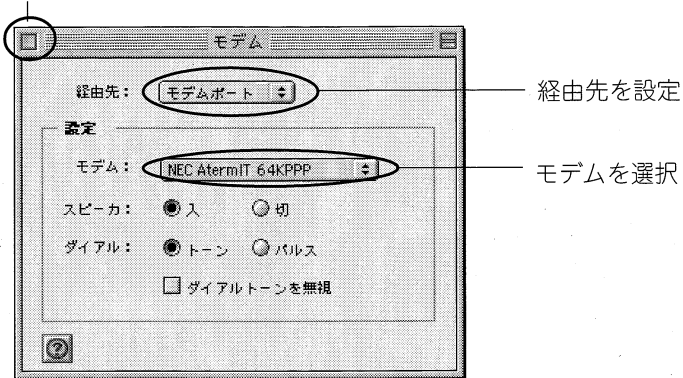
モデムの設定をする

ステップ1

メニューバーの [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] の中の [モデム] アイコンをダブルクリックします

[モデム] 画面が表示されます。

クローズボックス



ステップ2

[経路先] のプルダウンメニューからAtermを接続しているポートを選びます
USBポートに接続しているときは[Aterm]、モデムポートに接続しているときは [モデムポート]、プリンタポートに接続しているときは[プリンタポート]を選びます。

ステップ3

[モデム] のプルダウンメニューからモデムの種類を選びます

インターネットプロバイダのアクセスポイント接続条件によって選ぶモデムが異なります。

プロバイダからのユーザ設定情報等の資料を参照して設定してください。

Atermをシリアルポート
(COMポート) に接続している場合

アクセスポイントの条件	モデム
非同期57.6K	NEC AtermIT 57.6K
同期128K	NEC AtermIT MP
同期64K	NEC AtermIT 64KPPP
PIAFS 32K	NEC AtermIT 32KPIAFS
PIAFS 64K	NEC AtermIT 64KPIAFS

AtermをUSBポートに接続している場合

アクセスポイントの条件	モデム
非同期57.6K	NEC AtermIT 57.6K (USB)
同期128K	NEC AtermIT MP (USB)
同期64K	NEC AtermIT 64KPPP (USB)
PIAFS 32K	NEC AtermIT 32KPIAFS (USB)
PIAFS 64K	NEC AtermIT 64KPIAFS (USB)

ステップ4

設定が終了したら、クローズボックスをクリックします

ステップ5

保存 ボタンをクリックします

モデムの設定が終了しました。

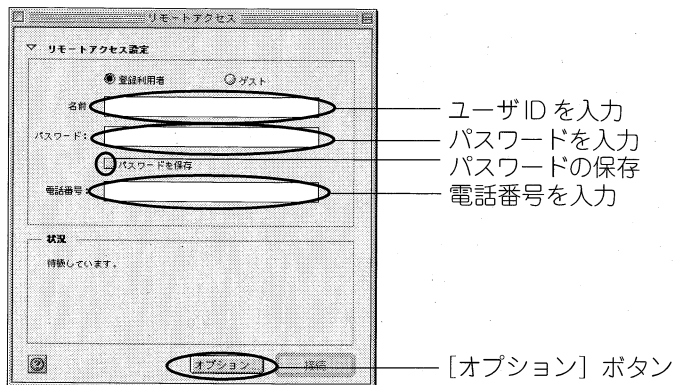
リモートアクセス (または PPP) の設定をする

ここではリモートアクセス (Mac OS 8.6) を例に説明します。Mac OS 8.0 をお使いの場合は、「リモートアクセス」を「PPP」に置き換えてお読みください。

ステップ1

メニューバーのアップルマーク(🍏)をクリックし、[コントロールパネル]の中の[リモートアクセス]を開きます

[リモートアクセス]画面が表示されます。



ステップ2

[リモートアクセス]の設定をします

- ① [登録利用者]が になっていることを確認します。
[登録利用者]が になっていないときは、クリックして にします。
- ② [名前]欄にユーザIDを入力します。
プロバイダからのユーザ情報等の資料を参照して入力してください。
入力するには、半角英文字を使います。大文字、小文字の区別もプロバイダからのユーザ情報等の資料にあわせてください。
- ③ [パスワード]欄にパスワードを入力します。
プロバイダからのユーザ情報等の資料を参照して入力してください。
入力には、半角英文字を使います。大文字、小文字の区別もプロバイダからのユーザ情報等の資料にあわせてください。
- ④ [パスワードを保存]にチェックマークをクリックして にします。
チェックマークを にしておくと、次回以降パスワードを入力する必要がなくなります。
- ⑤ [電話番号]欄にプロバイダの最寄りのアクセスポイントの電話番号を入力します。
入力には半角数字を使います。

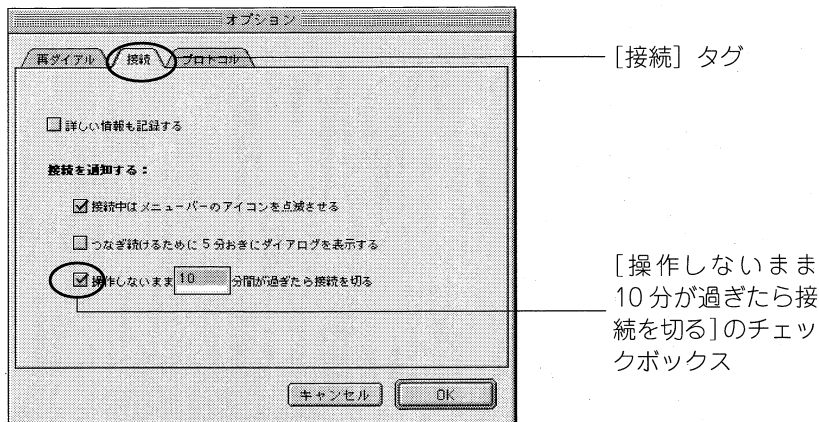
ステップ3

設定が終了したら **オプション** ボタンをクリックします

[オプション]画面が表示されます。

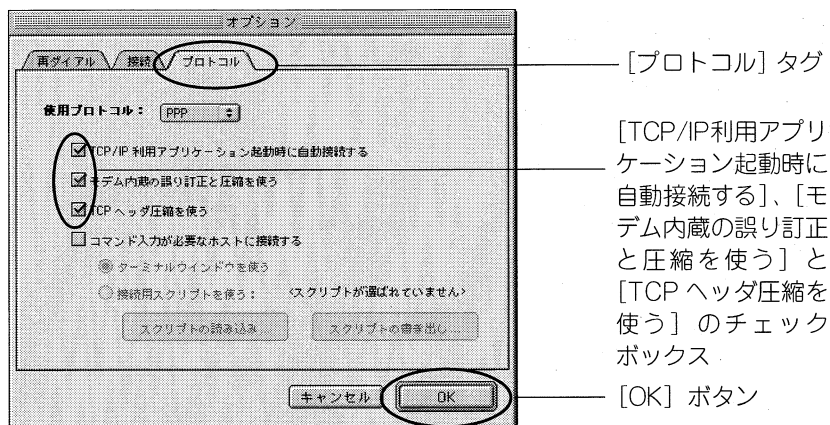
ステップ4

[オプション]画面の[接続]タグをクリックします

[操作しないまま 10分が過ぎたら接続を切る]の欄のチェックマークが になっていることを確認します。 になっていないときは、クリックしてチェックマークを にします。

ステップ5

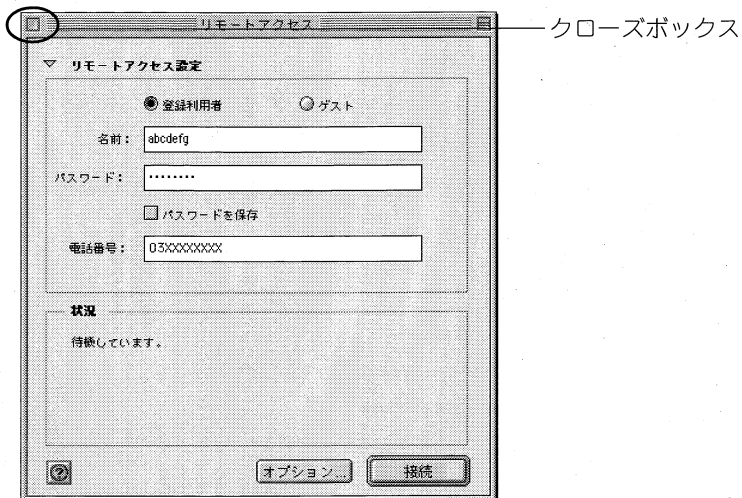
[オプション]画面の[プロトコル]タグをクリックします

[TCP/IP 利用アプリケーション起動時に自動接続する]、[モデム内蔵の誤り訂正と圧縮を使う]、[TCPヘッダ圧縮を使う]の欄のチェックマークが になっていることを確認します。 になっていないときは、クリックしてチェックマークを にします。

ステップ6 [オプション]画面の **OK** ボタンをクリックします

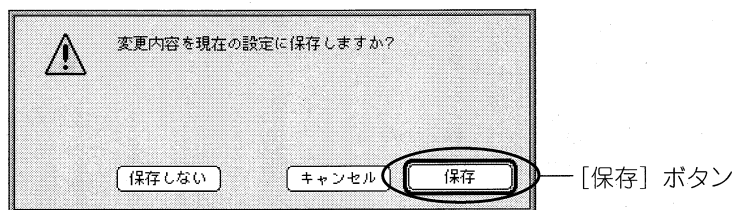
[リモートアクセス]画面に戻ります。

ステップ7 [リモートアクセス]画面のクローズボックスをクリックします



ステップ8 **保存** ボタンをクリックします

[リモートアクセス]の設定が終了しました。



● インターネットへ接続する

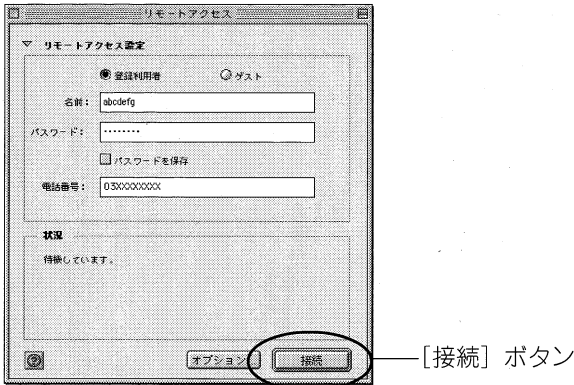
ここでは実際にプロバイダのアクセスポイントに電話をかけてインターネットに接続します。

ステップ1

メニューバーのアップルマーク(🍏)をクリックし、[コントロールパネル]の中での[リモートアクセス]を開きます
[リモートアクセス]画面が表示されます。

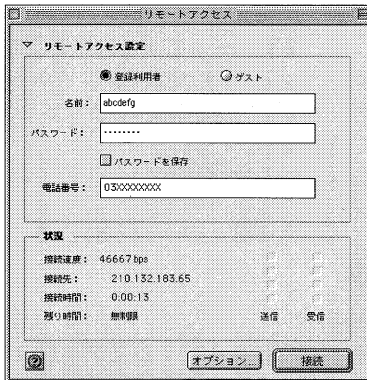
ステップ2

接続 ボタンをクリックします



パソコンからプロバイダに電話をかけ、つながると[ユーザ名]と[パスワード]の確認がおこなわれます。確認が終了するとプロバイダのホストコンピュータに接続されます。

[リモートアクセス]画面はつぎのようになります。



ステップ3

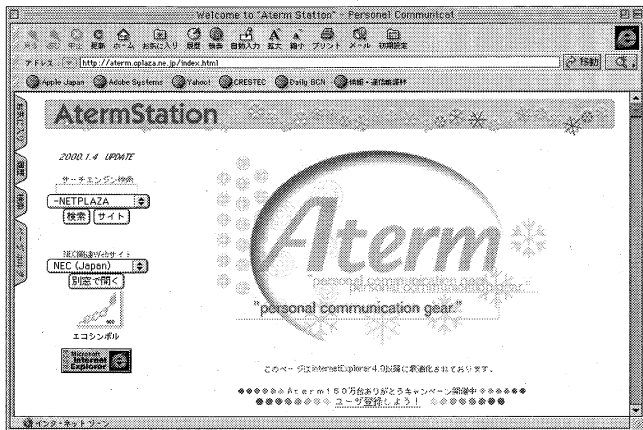
ブラウザソフトを起動します

「Internet Explorer」や「Netscape Navigator」などのアイコンをダブルクリックします。

ステップ4

見たいホームページのアドレス(URL)(たとえばhttp://aterm.cplaza.ne.jp)を入力し、リターンキーを押します

ホームページを見ることができます。



(AtermStationのアドレスおよび画面は平成12年1月現在のものです。)

参考

Atermをお買い上げいただいたお客様を対象にユーザ登録をおこなっています。

登録していただいたお客様には、Atermをご使用のお客様へのサービスの一環といたしまして、電子メールによる新製品情報、バージョンアップの案内を中心に、さまざまな情報提供やキャンペーン、イベントなどの特典・サービスを提供して参ります。是非ユーザ登録をおこなってください。

登録はインターネットホームページ「AtermStation」にておこなっています。

事前にご用意いただくもの

1. Aterm本体（機種名、製造番号）
2. 電子メールアドレス（最も一般的に使用しているアドレス）
3. Atermを使用するINSネット64の契約者回線番号

●インターネットの接続を切断する

ステップ1

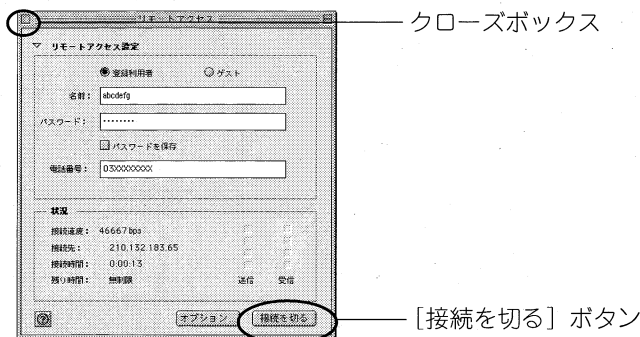
見終わったら、ファイルメニューから[終了]を選んでブラウザソフトを終了します

ステップ2

[リモートアクセス]画面の **接続を切る** ボタンをクリックしてから、クローズボックスをクリックします

注意!

接続を切る ボタンをクリックしないと、ブラウザソフトを終了しても電話はつながったままになっています。
インターネットの接続をやめるときは、必ず [リモートアクセス] 画面の **接続を切る** ボタンをクリックしてください。



インターネットの接続が切断されます。

通信回線が正常に切断されると、Atermの液晶ディスプレイに「データセツダン」が約20秒間表示されます。

注意!

接続を切る ボタンをクリックしてもAtermの液晶ディスプレイにデータ通信中のピクトグラム(☎B1B2)のどちらかが表示されているときは、通信回線が繋がったままになっています。そのまま放置すると通信費用がかかり続けます。このようなときは、AtermとINSネット64を接続している回線ケーブルを一度抜いて通信回線を強制的に切断してください。
回線ケーブルを抜くとAtermのすべての通信が切断されるので、他の機器が通信(通話)中ではないことを確認してから回線ケーブルを抜いてください。

参考

AtermのUSBポートまたはデータポートでは自動発信をする場合、通信相手が話し中のときには再発信の回数は最初の発信から3分間で2回以内に制限しています。この制限をこえる再発信は受けません。

3-2. 電話機から設定する(らくらくテレホン設定)

(※ 電話機独自の機能で既に【*】【*】【1】を使用しているときは、『らくらくテレホン設定』で設定できません。)
【*】【*】【1】が使用できるかどうかは、電話機メーカーにお問い合わせください。

(1) 日付・時刻を設定する

Atermの液晶ディスプレイに表示する月、日、時、分の設定をおこないます。Atermの液晶ディスプレイを見ながら、接続した電話機で操作してください。

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

ステップ2

【*】【*】【1】【*】と押します

ステップ3

【9】を押します

ステップ4

【*】を押します

ステップ5

年、月、日、時、分の順に入力します

年：西暦の下2桁。

月・日・時・分：2桁。(時刻は24時間制)

例：2000年12月1日午後10時10分の場合

【0】【0】【1】【2】【0】【1】【2】【2】【1】【0】と入力します。

●【*】を押すと入力場所がスキップします。

ステップ6

【#】を押します

ステップ7

受話器を置きます

● 入力の途中で受話器を置くと設定が
キャンセルされます。



参考

カレンダーの代わりに機種名を表示させることができます。

受話器をあげて次の操作をします。

● 「カレンダー」を表示させる場合
【*】【*】【8】【1】【1】を押します。

● 「機種名」を表示させる場合
【*】【*】【8】【1】【0】を押します。

Atermの液晶ディスプレイ

1月 1日 0:00

セッテイホートセンタク

シコク セッテイ

00年01月01日
00:00

00年12月01日
22:10

5秒後 ↓

12月 1日 22:10

Atermの液晶ディスプレイ

アイトルヒヨウジ
1:トケイ

アイトルヒヨウジ
0:Aterm

(2) 使用ポートと接続機器を設定する

各アナログポートに接続している機器の種類を設定します。
なにも接続しないアナログポートは、必ず「使用しない」に設定してください。

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

Atermの液晶ディスプレイ

A
12月 1日 10:10

ステップ2

【*】【*】【1】【*】を押します

A
セッテイホ^oートセンタク

注意!

「ポートシヨウチュウ セッテイフカ」と表示されたときは、通話
中または通信中で設定ができません。通話や通信を終わらせてか
ら再度操作してください。

ステップ3

設定するポート番号を押します

アナログAポート → 【1】を押す
アナログBポート → 【2】を押す

A
アナログ^o A ニセッテイ

【1】を押したとき

ステップ4

【*】【0】【1】【*】 と押します

A
アナログ^o ソウチ
0:デ^oンフ

ステップ5

接続している機器の番号を押します

電話機 → 【0】を押す
ファクスまたはファクス付電話機、モデム
→ 【1】を押す
機器を接続しない → 【2】を押す

A
アナログ^o ソウチ
0:デ^oンフ

【0】を押したとき

※ 表示している内容を変更しないときは、ステップ6へ進んで下さい。

ステップ6

【#】を押します

A
セッテイホ^oートセンタク

他のポートを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ7

【#】を押します

これで設定は終了しました。

A
セッテイシマシタ

ステップ8

受話器を置きます

約5秒間表示します

(3) 発信者通知番号を設定する

① i・ナンバー契約の場合

電話をかけたときに相手に通知するi・ナンバー電話番号（発信者通知番号）を各アナログポートで設定します。

i・ナンバーを契約していない方は、設定の必要はありません。

Atermの液晶ディスプレイ

ステップ1

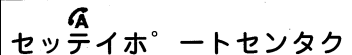
受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。


12月 1日 10:10

ステップ2

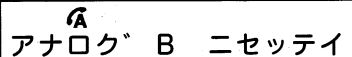
【*】【*】【1】【*】と押します


セッテイポ ートセンタク

ステップ3

設定するポート番号を押します

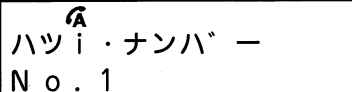
アナログAポート → 【1】を押す
アナログBポート → 【2】を押す


アナログ B ニセッテイ

【2】を押したとき

ステップ4

【*】【9】【5】と押します


ハツい・ナンバー
No. 1

ステップ5

設定値を入力する／しないを選択します

設定値を入力する場合は、【*】を押します。表示されている設定値を変更しない場合は、ここで【*】を押さずにステップ7へ進んでください。

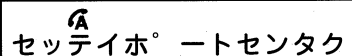
ステップ6

通知する発信番号（i・ナンバー情報）を押します

i・ナンバー情報1 → 【1】を押す
i・ナンバー情報2 → 【2】を押す

ステップ7

【#】を押します

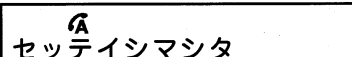

セッテイポ ートセンタク

他のポートを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8

【#】を押します

これで設定は終了しました。


セッテイシマシタ

ステップ9

受話器を置きます

約5秒間表示します

② ダイヤルインサービス契約の場合

電話をかけたときに相手に通知する電話番号（発信者通知番号）を各アナログポートで設定します。

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

ステップ2

【*】【*】【1】【*】と押します

ステップ3

設定するポート番号を押します

アナログAポート → 【1】を押す
アナログBポート → 【2】を押す

ステップ4

【*】【9】【2】と押します

ステップ5

設定値を入力する／しないを選択します

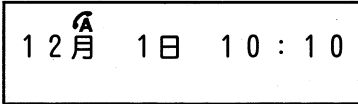
設定値を入力する場合は、【*】を押します。
表示されている設定値を変更しない場合は、ここで【*】を押さずにステップ7へ進んでください。

ステップ6

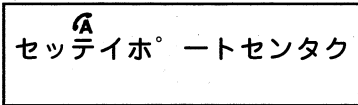
電話番号を押します

例：03-1234-5678 のときは、
0312345678 と押します。

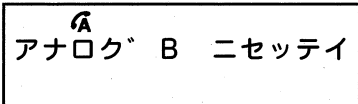
Aterm の液晶ディスプレイ



12月 1日 10:10

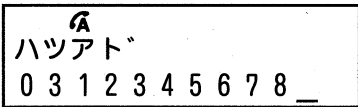


セッテイポートセンタク



アナログ B ニセッテイ

【2】を押したとき

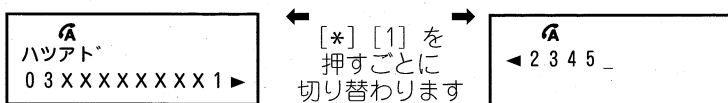


ハツアト
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 _



- ・電話番号を間違えて入力したとき
[*] [*] を押すと、入力した最後尾の1文字を削除できます。
- ・12桁以上の番号を入力したとき
12桁目を入力すると、先頭に◀が付いて画面が切り替わります。
この状態で [*] [1] を押すと、末尾に▶が付き、1桁目から11桁目までの表示に戻ります。
もう一度 [*] [1] を押すと、12桁目を入力したときの画面に戻ります。

例．電話番号：03XXXXXXXX12345



ステップ7

【#】を押します

セッテイホートセンタク

他のポートを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8

【#】を押します

これで設定は終了しました。

セッテイシマシタ

ステップ9

受話器を置きます

約5秒間表示します

(4) アナログポートを別々の電話番号で呼び分ける

① i・ナンバー契約の場合

(1) ~ (3) 項を順番に設定してください。

(1) 電話番号を登録する

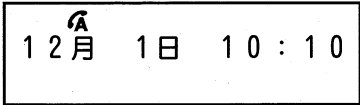
INS ネット64で契約している電話番号(i・ナンバー情報)を登録します。登録した電話番号は、「(2) 呼び出す電話番号(i・ナンバー)を割り当てる」(☎3-51ページ)で各ポートの割り当てをおこないます。

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

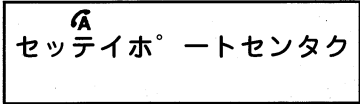
Aterm の液晶ディスプレイ



12月 1日 10:10

ステップ2

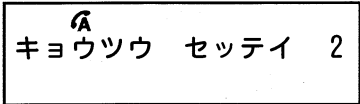
【*】【*】【1】【*】と押します



セッテイホートセンタク

ステップ3

【5】を押します



キョウツウ セッテイ 2

ステップ4

【*】【9】【0】【1】と押します


(【1】には、i・ナンバー情報1を登録します。)

i・ナンバー情報2を登録するには、【1】部分を【2】と変更します。

ステップ5

【*】【電話番号】を押します

例：03-1234-5678 のときは、
0312345678 と押します。



デソワバソゴウ1:
0312345678

※ 表示されている電話番号を変更しない場合は、ここで【*】を押さずに【#】を押します→ステップ6の操作をしたことになります。
間違えて入力したときは、「参考」を参照してください。☎3-48ページ

ステップ6

【#】を押します

内線指定番号は、アナログ・ダイヤルインで使用します。ここではアナログ・ダイヤルインの設定をおこなわないため入力しません。

i・^Aナイセンシテイ 1 :
■



内線指定番号を入力したい場合は【*】【内線指定番号】を追加入力します。

i・^Aナイセンシテイ 1 :
1 2 3 4 _

ステップ7

【#】を押します

^Aセッテイホ° ートセンタク

他のi・ナンバーを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8

【#】を押します

これで設定は終了しました。

^Aセッテイシマシタ

約5秒間表示します

ステップ9

受話器を置きます

(2) 呼び出す電話番号 (i・ナンバー) を割り当てる

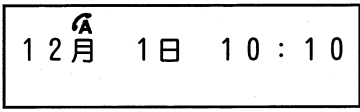
かかってきた電話番号 (i・ナンバー情報) でどのアナログポートの呼出音を鳴らすかを設定します。1つのポートに2個の電話番号 (i・ナンバー情報) を割り当てることができます。

Atermの液晶ディスプレイ

ステップ1

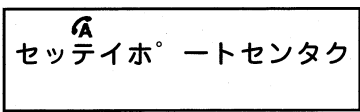
受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定できます。



ステップ2

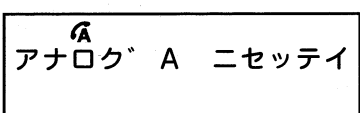
【*】【*】【1】【*】と押します



ステップ3

設定するポート番号を押します

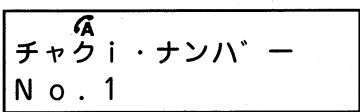
アナログAポート → 【1】を押す
アナログBポート → 【2】を押す



【1】を押したとき

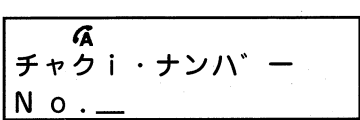
ステップ4

【*】【9】【4】と押します



ステップ5

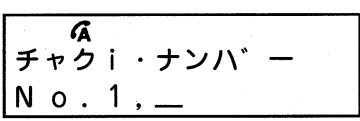
【*】を押します



ステップ6

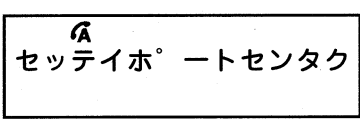
着信するi・ナンバー情報を押します

i・ナンバー情報 1 → 【1】を押す
i・ナンバー情報 2 → 【2】を押す



ステップ7

【#】を押します

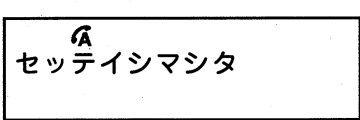


他のポートを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8

【#】を押します

これで設定は終了しました。



ステップ9

受話器を置きます

約5秒間表示します

(3) i・ナンバー着信選択を設定する

i・ナンバー情報を「i・ナンバーを使用する」に設定します。

- | | |
|---|---|
| <p>ステップ1 受話器をあげます
接続してある電話機のどれからでも設定
できます。</p> <p>ステップ2 【*】【*】【1】【*】と押します</p> <p>ステップ3 【4】を押します</p> <p>ステップ4 【*】【7】【6】【*】と押します</p> <p>ステップ5 i・ナンバーを使用する/しないを
設定します
使用しない : 【0】を押す
使用する : 【1】を押す</p> <p>ステップ6 【#】を押します</p> <p>ステップ7 【#】を押します
これで設定は終了しました。</p> <p>ステップ8 受話器を置きます</p> | <p>Atermの液晶ディスプレイ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">A
12月 1日 10:10</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">A
セッテイホ°ートセンタク</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">A
キョウツウ セッテイ 1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">A
i・ナンバ -
0:シナイ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">A
i・ナンバ -
1:スル
【1】を押したとき</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">A
セッテイホ°ートセンタク</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">A
セッテイシマシタ
約5秒間表示します</div> |
|---|---|

② ダイヤルインサービス契約の場合

(1) ～ (3) 項を順番に設定してください。

(1) 電話番号を登録する

INS ネット 64 で契約している電話番号をリスト 0 ～ 7 に登録します。登録したリスト (電話番号) は、「(2) 呼び出す電話番号 (ダイヤルイン番号) を割り当てる」(☎3-55 ページ)で各ポートに割り当てをおこないます。

ステップ 1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

Aterm の液晶ディスプレイ

12月 1日 10:10

ステップ 2

【*】【*】【1】【*】と押します

セッテイホ^oートセンタク

ステップ 3

【4】を押します

キョウツウ セッテイ 1

ステップ 4

【*】【8】【0】と押します

(【0】には、契約者回線番号を登録します。)

【0】部分を [0] ～ [7] と変更すれば、[0] ～ [7] それぞれに 1 つの電話番号が設定でき、最大 8 個まで登録できます。

[0] ～ [7] の番号は、「(2) 呼び出す電話番号 (ダイヤルイン番号) を割り当てる」(☎3-55 ページ)で使用します。

ステップ5

【*】【電話番号】を押します

例：03-1234-5678 のときは、
0312345678 と押します。

チャックアウト 0 :
0 3 1 2 3 4 5 6 7 8 _

※ 表示されている電話番号を変更しない場合は、ここで【*】を押さずに【#】を押す→ステップ6の操作をしたこととなります。
間違えて入力したときは、「参考」を参照してください。☎ 3-48 ページ

ステップ6

【#】を押します

内線指定番号は、アナログ・ダイヤルインで使用します。ここではアナログ・ダイヤルインの設定をおこなわないため入力しません。

ナイセンシティ 0 :
—



内線指定番号を入力したい場合は【*】【内線指定番号】を追加入力します。

ナイセンシティ 0 :
1 2 3 4 _

ステップ7

【#】を押します

セッテイホートセンタク

他のダイヤルイン番号を設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8

【#】を押します

これで設定は終了しました。

セッテイシマシタ

約5秒間表示します

ステップ9

受話器を置きます

(2) 呼び出す電話番号（ダイヤルイン番号）を割り当てる

かかってきた電話番号でどのアナログポートの呼出音を鳴らすかを設定します。最大8個の電話番号を割り当てることができます。

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定
できます。

ステップ2

【*】【*】【1】【*】と押します

ステップ3

設定するポート番号を押します

アナログAポート → 【1】を押す
アナログBポート → 【2】を押す

ステップ4

【*】【9】【1】と押します

ステップ5

【*】を押します

Atermの液晶ディスプレイ

12月 1日 10:10

セッテイポ ートセンタク

アナログ A ニセッテイ

【1】を押したとき

チャクアド 0 ケン

チャクアド 0 :
XXXXXXXXXXXX

※ 表示されている設定値を変更しない場合は、ここで【*】を押さずに【#】を押します→ステップ7の操作をしたこととなります。

ステップ6

表示されている電話番号を設定しているアナログポートに割り当てるかどうかを選択します

割り当てる場合は、【0】を押します。

割り当てない場合は、【3】を押すたびに次の番号が表示されるので割り当てる電話番号を表示してから【0】を押します。

割り当てられた場合は、番号の右に●が表示されます。

チャクアト ^A 0 :
XXXXXXXXXXXX

チャクアト ^A 0 :	●
XXXXXXXXXXXX	



参考

ここでは、次のコマンドが使用できます。

- 0 : 電話番号を割り当てる / 割り当てない切替
- 1 : 表示されてる電話番号の続きをみる
- 2 : 割り当て状況をみる
- 3 : 次の電話番号をみる
- 4 : 前の電話番号をみる

ステップ7

【#】を押します

セッテイホ ^A ートセンタク

他のダイヤルイン番号の割り当てを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ8

【#】を押します

これで設定は終了しました。

セッテイシマシタ ^A

ステップ9

受話器を置きます

約5秒間表示します

(3) グローバル着信選択を設定する

契約者回線番号を設定したアナログポートを「グローバル着信を利用する」に設定し、その他のポートを「グローバル着信を利用しない」に設定します。

ステップ1

受話器をあげます

接続してある電話機のどれからでも設定できます。

Aterm の液晶ディスプレイ

12月 1日 10:10

ステップ2

【*】【*】【1】【*】と押します

セッテイホ^oートセンタク

ステップ3

設定するポート番号を押します

アナログAポート → 【1】を押す
アナログBポート → 【2】を押す

アナログ^o A ニセッテイ

【1】を押したとき

ステップ4

【*】【0】【5】【*】と押します

グローバ^oルチャクシン
0:スル

ステップ5

グローバル着信を利用する/しないを設定します

利用する : 【0】を押す
利用しない : 【1】を押す

グローバ^oルチャクシン
0:スル

【0】を押したとき

ステップ6

【#】を押します

セッテイホ^oートセンタク

他のポートを設定するためには、ステップ3からの操作をくり返してください。

ステップ7

【#】を押します

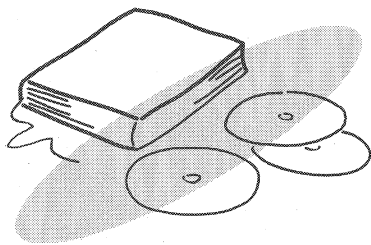
これで設定は終了しました。

セッテイシマシタ

約5秒間表示します

ステップ8

受話器を置きます



4 付録

INS ネット 64 のお申し込みと停電時に Aterm を
使えるようにするための方法について説明します。

4-1. INS ネット 64のお申し込み

最寄りのINS ネット64の窓口で、INS ネット64の加入手続きをしてください。手続きの詳細につきましては、INS ネット64の窓口にご相談ください。

INS ネット64お申込票の記入のしかた

- | | |
|--------------------|--|
| ① お申込年月日 | お申込票を提出される日を記入します。 |
| ② ご記入者 | お申込者の名前を記入します。 |
| ③ ご利用開始希望日 | 工事を希望される年月日を記入します。 |
| ④ お申込回線数 | お申し込みをおこなう回線数を記入します。 |
| ⑤ お申込者名 | 住民票または登記簿上の名前を記入します。 |
| ⑥ INS ネットをご利用になる場所 | INS ネット64を利用する場所の詳細を記入します。 |
| ⑦ お申込者ご住所 | 住民票または登記簿上の住所を記入します。 |
| ⑧ ご連絡先 | 平日の昼間に連絡のとれる電話番号を記入します。 |
| ⑨ 工事立会者 | お申込内容をご存じて工事完了の確認ができる方の名前を記入します。 |
| ⑩ 毎月の請求書の送付先 | 送付される請求書の送付先を選択または記入します。 |
| ⑪ 電話帳への掲載方法 | 電話帳への掲載名を記入します。「掲載する」をチェックすると、記入いただいた名前で番号案内(104)もおこなわれます。載せない場合は、「掲載しない」をチェックします。 |
| ⑫ 電話帳の配達 | 「希望する」または「希望しない」をチェックします。 |

● ご確認項目 *** 必須項目 ***

インターフェイス形態及びレイヤ1起動種別	<input type="checkbox"/> P-MP 常時を推奨します。
発信者番号通知サービス	<input type="checkbox"/> 通常通知（通知ごと非通知）を推奨します。 初期状態でAtermは「INS ネット64 申込内容に従う」に設定されているため、発信者番号を通知します。通知したくない場合は、らくらくユーティリティやATコマンドで「通知しない」に設定します。
ユーザ間情報通知サービス	<input type="checkbox"/> 着信許可をチェックします。 チェックしない場合、電子メール着信通知、UIIメール、ユーザ間情報通知の機能が利用できません。

● ご確認項目 *** 付加項目 (無料) ***

通信中着信通知サービスをチェックします。
 チェックしない場合、データ通信のときにリソースBODの着信、電子メール着信通知、UUIメールの着信ができません。

● ご確認項目 *** 付加項目 (有料) ***

<input type="checkbox"/> i・ナンバー	電話番号を2つ使いたいときに契約します。
<input type="checkbox"/> ダイヤルインサービス	Atermのグローバル着信機能を利用して、アナログポートを電話番号で呼び分けたいときに契約します。 グローバル着信の<input type="checkbox"/>利用 をチェックします。

その他、お客様のご使用形態に合わせて、ご記入ください。

● 通信機器

通信機器の名称	DSU 折り返し機能 <input type="checkbox"/> 有 をチェックします。 AtermIT60L/D は「PC-IT60LD1A」を記入します。 AtermIT60L/D (S) は「PC-IT60LD1A (S)」を記入します。
メーカー名	他社
数量	台数を記入します。
機器工事	<input type="checkbox"/> お客さま をチェックします。

このお申込書は一例です。

【基本機能版】「INS ネット64/INS ネット64-ライト」お申込書

基本機能版 INS ネット64-ライト

申込書 申込番号: _____

申込年月日: _____ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

申込者名: _____

申込者ご住所 ビル・マンション 階 _____ 号室 _____

現在の利用中のお電話 _____ 番 _____ 号 _____ 室

現在ご利用中のお電話 _____ 番 _____ 号 _____ 室

申込書をお送りください

申込書をお送りください

申込書をお送りください

申込書をお送りください

申込書をお送りください

申込書をお送りください

申込書をお送りください

申込書をお送りください

申込書をお送りください

申込書をお送りください

申込書をお送りください

申込書をお送りください

インターネット <input type="checkbox"/> P-MP専用 <input type="checkbox"/> P-P <input type="checkbox"/> P-P専用 <input type="checkbox"/> P-P専用 <input type="checkbox"/> P-P専用	高層階専用通信サービス <input type="checkbox"/> 高速データ通信 <input type="checkbox"/> 高速データ通信 <input type="checkbox"/> 高速データ通信	ユーザー間専用通信サービス <input type="checkbox"/> 高速データ通信 <input type="checkbox"/> 高速データ通信 <input type="checkbox"/> 高速データ通信	DSU <input type="checkbox"/> DSU <input type="checkbox"/> DSU	運用機種の名称 <input type="checkbox"/> DSU <input type="checkbox"/> DSU	保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分	機器タイプ <input type="checkbox"/> 機器タイプ <input type="checkbox"/> 機器タイプ	機器タイプ <input type="checkbox"/> 機器タイプ <input type="checkbox"/> 機器タイプ	保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分	保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分	保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分	保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分	保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分	保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分	保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分 <input type="checkbox"/> 保守区分
--	---	---	---	---	--	---	---	--	--	--	--	--	--	--

* コンパイル項目は、必ずお書き添えに説明していただく。また各項目の詳細については、裏面の冊子をご覧ください。

4-2. 停電時に Aterm を使うために

Aterm は停電したときでも通話ができる機能（停電モード）があります。

停電時に使えるのは

- アナログ A ポートに接続されている電話機などの機器と、データポートまたは USB ポートに接続された機器（停電時動作可能な機器）です。
- 電子メール着信通知や遊遊メール、UII メールでもご利用できます。
- S 点ユニットの S/T 点にも給電します。



電池の連続動作可能時間の目安

※アナログ A ポート利用の場合

	連続待ち受け時間	連続通話時間
新しい単 3 アルカリ乾電池	約 8 時間	約 4 時間

- アナログ B ポートに接続した電話機の受話器をあげると動作可能時間が短くなりますので、受話器は置いたままにしてください。
- S 点ユニット、データポートまたは USB ポートに接続された機器によって、時間が短くなりますので、必要な機器以外は Aterm からはずしてください。

設定のしかた

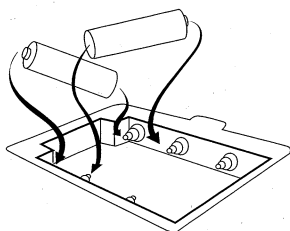
- ステップ 1 電源スイッチがオフ（○ が押された状態）になっていることを確認します
- ステップ 2 電池カバーを開けます

ステップ3

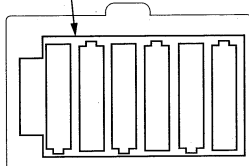
電池を入れます

市販の単3アルカリ乾電池（6本）をご用意ください。

電池の極性に注意して、電池ホルダーに入れます。




電池の(+), (-)を正しく入れてください



参考

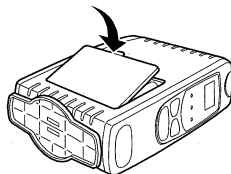
電池は、周囲温度の上昇や、使い切ったままのご使用継続等の原因により、液漏れする場合がありますので3ヶ月に1回程度、電池カバーを開けて電池の外観の点検をおこなうことを推奨します。また、1年に1回の割合でアルカリ乾電池は交換してください。なお、この交換を忘れることを防止するため、アルカリ乾電池は停電時にセットすることを推奨します。

注意!

- ご使用の電池の注意を良く守ってご使用ください。
- アルカリ乾電池は、アルカリ乾電池ご使用上の注意（ 4-7ページ）の注意事項を良くお読みのうえ、ご使用ください。

ステップ4

電池カバーを閉じます



ステップ5

Atermの電源スイッチをオン（「I」が押された状態）にします

アルカリ乾電池ご使用上の注意

⚠ 危険

- アルカリ乾電池内部の液が眼に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



⚠ 警告

- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池の(+)と(-)を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- 新しい電池と一度使用した古い電池、種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
- この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。電池がショートし、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。
- 電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



注 意

- 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えると液漏れや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- ・ 使用推奨期限内の単3アルカリ乾電池をお使いください。
(アルカリ以外のマンガン電池などでの動作保証はしていません。)
- ・ 停電がなくても、1年に1度の割合で新しい電池と交換してください。長期間のあいだ電池を装着したままでご使用になると電池が漏液するおそれがあります。
- ・ 電池を保管する場合及び廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜると、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。
- ・ 電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。電池を漏液させるおそれがあります。また、電池の性能や寿命を低下させることがあります。
- ・ 電池を入れた電池ホルダ側の側面を、発熱する機器の近くや直射日光・高温・高湿の場所に置かないでください。
また、通風孔をふさがないでください。漏液、発熱、破裂のおそれがあります。
- ・ 使い切った電池はすぐに器具から取り出してください。
過放電、高温放置による電池の液漏れでの本装置の故障については当社は保証いたしかねます。
- ・ 電池に直接ハンダ付けをしないでください。
- ・ 電池を取りはずした場合は、小さなお子様が電池をなめたり、あやまって飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かないところへおいてください。
- ・ 使い切った電池はすぐに本装置から取り出してください。使い切った電池を本装置に接続したまま長時間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、機器を破損させるおそれがあります。



5 索引

◆数字・記号◆

64k・128k 通信 3-16

◆A◆

AT コマンド 1-3

AtermStation 3-21, 3-42

◆B◆

BIGLOBE 1-11, 3-13, 3-14

◆C◆

CD-ROM 1-12, 1-13,

3-2, 3-25, 3-27

◆E◆

ENTER ボタン 1-14

◆I◆

INS 回線ケーブル 1-12

INS 回線コネクタ 1-16

INS 回線リバーススイッチ 1-16, 2-10

INS ネット 64 のダイヤルインサービス ... 1-9

i・ナンバー 1-8, 3-9, 3-29,

3-46, 3-51, 3-52

i・ナンバー情報 1-8, 3-29,

3-46, 3-51, 3-52

INS ネット 64 のお申し込み 1-7, 4-2

INS ネット 64 の接続 2-3, 2-5, 2-7

Internet Explorer 3-20, 3-21, 3-42

IT60L らくらくユーティリティ 3-18

◆M◆

Macintosh 1-6, 3-24

Mac OS 3-24, 3-25

Mac 変換ケーブル 1-12

MENU ボタン 1-14

MSG (MESSAGE)ランプ 1-14

◆N◆

Netscape Navigator 3-21, 3-42

◆O◆

OS 3-24, 3-34

OT-PPP (Open Transport PPP) 3-34

◆P◆

Performa シリーズ 3-34

PPP 3-34, 3-38

PWR (POWER)ランプ 1-14

◆R◆

RS-232C ケーブル 1-12, 2-5, 2-8

◆S◆

SELECT ボタン 1-14

SD/RD ランプ 1-14

S 点ユニット 1-16

◆ T ◆

TA 1-7
TCP/IP 3-34, 3-35

◆ U ◆

URL 3-21, 3-42
USB ケーブル 1-12, 2-3, 2-7, 3-26
USB ドライバ 3-6, 3-25
USB ポート 1-5, 1-6, 1-16,
2-3, 2-7, 3-6,
3-23, 3-26, 3-43

◆ W ◆

Windows95 1-5, 3-2
Windows98 1-5, 3-2

◆ア～オ◆

- アース 1-16, 2-2, 2-4, 2-9
- アウトLOOKエクスプレス 1-11
- アクセスポイント ... 1-11, 3-14, 3-20, 3-41
- アナログポート 1-16, 2-6, 3-8,
3-30, 3-45, 3-49
- インストール 3-2, 3-27
- インターネット 1-11, 3-13, 3-20, 3-34
- インターネット
エクスプローラ 1-11
- インターネットの接続を切断する
Windows98/Windows95 3-22
Macintosh 3-43
- インターネットへ接続する
Windows98/Windows95 3-20
Macintosh 3-41
- 液晶ディスプレイ 1-14
- 絵文字 1-15
- オンラインサインアップ 1-5, 1-11,
3-13, 3-14

◆カ～コ◆

- カイセンショウガイ 2-10
- 各部の名称 1-14
- 雷防護アダプタ 2-3, 2-4, 2-9
- カレンダー 3-44
- 漢字Talk 3-34
- グローバル着信 1-9, 3-10, 3-57
- 契約者回線番号 1-9, 3-10, 3-30
- コンセント 1-7, 2-2～2-5,
2-7, 2-10

◆サ～ソ◆

- 接続 2-6～2-9
- 接続図 2-2～2-5
- 設定する
Windows98/Windows95 3-2
Macintosh 3-24
- 電話機 3-44
- 切断 3-22, 3-43
- 設定手順
電話機だけを使う場合 1-4
Windows98/Windows95 1-5
Macintosh 1-6
- 設定のしかた 1-3

◆タ～ト◆

- ターミナルアダプタ 1-7
- ダイヤルアップネットワークモニター 3-21
- ダイヤルインサービス ... 1-9, 3-9, 3-47, 3-53
- ダイヤルイン番号 1-9, 3-31
- ダイヤル方式 2-6
- 縦置きスタンド 1-12, 2-2, 2-4
- 単3アルカリ乾電池 4-6
- 停電 2-3, 2-5, 2-6, 4-5
- 添付品 1-12
- ディップスイッチ 1-18, 3-26
- データポート 1-5, 1-6,
1-16, 2-4, 2-8, 3-6
- でかけるボタン 1-14
- 電源 1-16, 2-2, 2-4, 2-9, 2-10
- 電子メール 1-11
- 電子メール着信通知 1-14

電池	1-18, 4-5
電話機とファクスを呼び分ける ..	1-8 ~ 1-10
電話機の接続	2-3, 2-5
電話番号の登録	3-49, 3-53
電話番号を割り当てる	3-49, 3-51
電話を使う	2-11
同期・非同期	3-16, 3-37

◆ナ～ノ◆

ネットスケープナビゲータ	1-11
--------------------	------

◆ハ～ホ◆

パスワード	1-11, 3-20, 3-38
パソコンの接続	2-3, 2-5, 2-7, 2-8
発信者通知番号	3-31, 3-46
番号設定	3-10, 3-31, 3-46
日付・時刻の設定	3-18, 3-44
ピクトグラム	1-15, 3-23, 3-43
ビッグローブ	3-13
品名ラベル	1-16
不揮発性メモリ	3-19, 3-32
ファクスの接続	2-3, 2-5, 2-6
プロバイダ	1-11, 3-13 ~ 3-16, 3-20, 3-41
ブラウザ	1-11, 3-20, 3-42
ブランチ接続	2-6
ホームページ	1-11, 3-21, 3-42
保証書	1-12

◆マ～モ◆

モジュラタイプ	1-7
メールアドレス	1-11
モデム	2-3, 2-5, 2-6
モデムの設定	3-16, 3-37

◆ヤ～ヨ◆

ユーザ登録	1-12, 3-22, 3-42
ユーザ ID	3-38
ユーザー名	1-11, 3-20
ユーティリティ	3-18, 3-27
呼び分け	1-4 ~ 1-6, 1-8 ~ 1-10, 3-49

◆ラ～ロ◆

落雷	2-3, 2-4, 2-9
らくらくウィザード	1-3, 1-11, 3-2
らくらくテレホン設定	1-3, 3-44
らくらくユーティリティ	1-3, 3-18, 3-27, 3-28
リモートアクセス	3-34, 3-38
ローゼット	2-6

MEMO

◆ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

◆ 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

◆ ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) Atermには初の停電機能を持たせるなど、災害時に於いてのライフラインと直結した通信手段の確保を意図した設計がされていますが、せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。添付の各マニュアルをよくお読みになり記載されている注意事項を必ずお守りください。

Windows, Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Netscape Navigator は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

AmLINK3 © AMD

© NEC Corporation 1999

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などをおこなうことはできません。



この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。